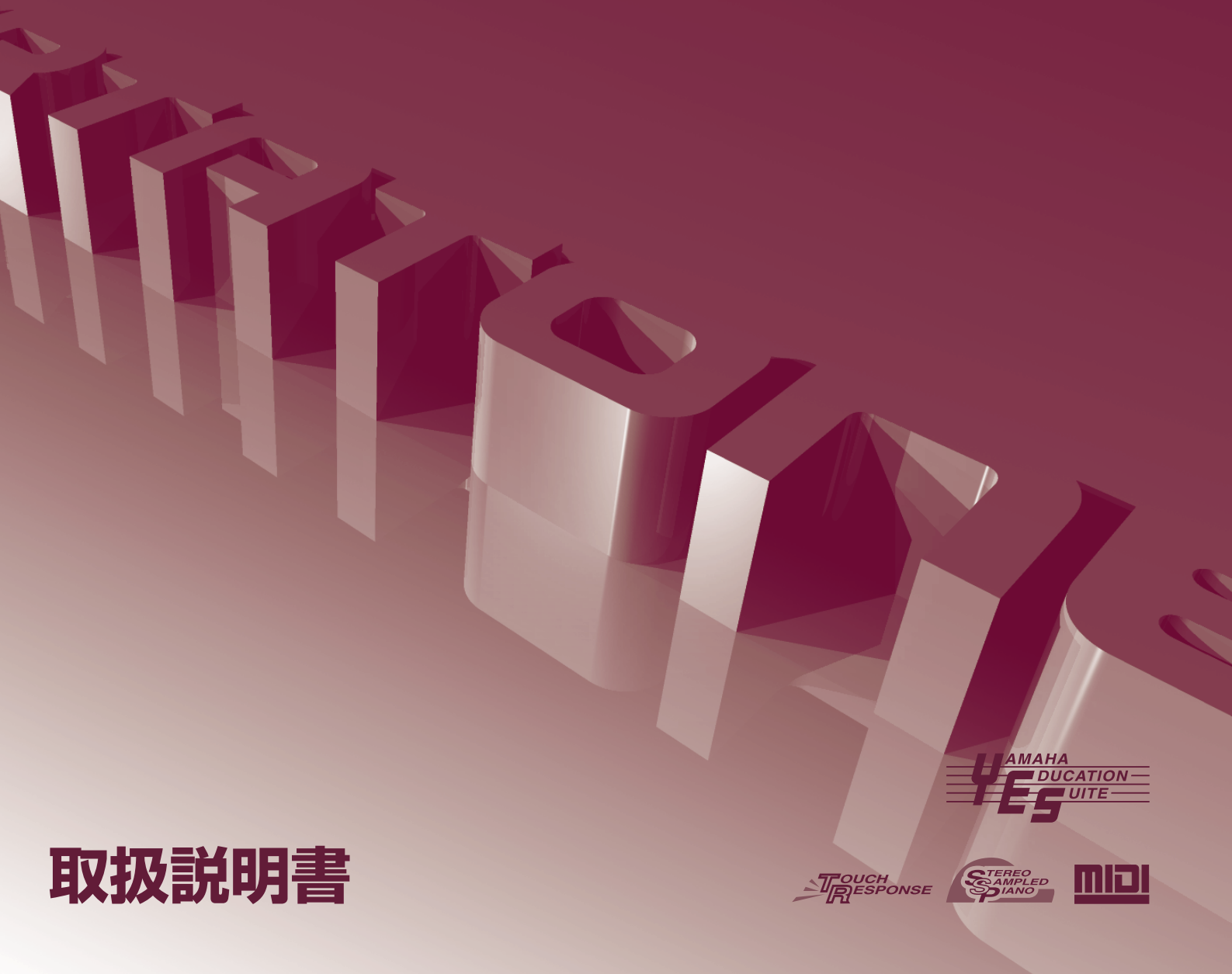




PORTATONE

PSR-240



取扱説明書



ごあいさつ

このたびはヤマハポータートーンPSR-240をお買いもめ
いただき、まことにありがとうございます。PSR-240のさまざまな
機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってから
ご使用ください。なお、読み終わった後も、保証書とともに
大切に保管して、操作のしかたがわからないときにお読みください。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもおお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

△記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

●記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。



電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または使用中に音が出なくなったり異常なおい煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。)

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターを使用する場合は、指定の電源アダプター(PA-3B)以外は使用しない。(異なった電源アダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。)



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。



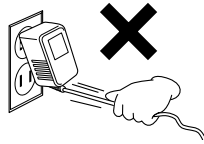
電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。感電やショートのおそれがあります。

⚠️ 注意

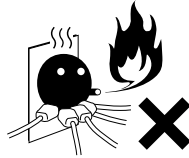
この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

❌ 電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

❗ 電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



❌ タコ足配線をしていない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



❗ 使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電、ショート、発火などの原因になります。

❗ 乾電池はすべて+/-の極性表示通りに正しく入れる。
正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのするおそれがあります。

❗ 乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)を一緒に使用しない。
発熱、発火、液漏れの原因になります。

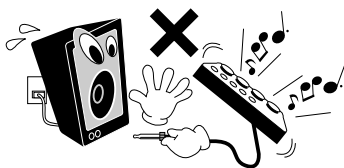
❌ 乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。
乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入ると破裂するおそれがあります。

❌ 使い切りタイプの乾電池は、充電しない。
充電すると液漏れや破裂の原因になります。

❗ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておく。
乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

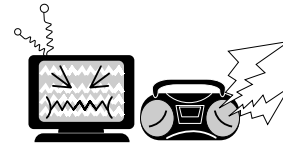
❌ 乾電池は子供の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。

❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小(0)にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。



❌ 感電または機器の損傷のおそれがあります。
直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

❌ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



❌ 不安定な場所に置かない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❗ 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

❌ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック/ゴム製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

❌ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❌ 指定のスタンド/ラック以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

❌ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。
また、使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

PSR-240の特長



楽しいレッスン機能(Yamaha Education Suite)

→ 26, 41ページ

100曲のソングを楽しみながら練習できる「メロディガイド」と自動伴奏に便利な「コードガイド」があります。

メロディガイド 自分のペースでソングを練習できる「ウェイティング」、カラオケのようにメロディ演奏を楽しめる「マイナスイオン」。

コードガイド 左手の伴奏が指1本で演奏できる「スマート」、和音の押さえ方を教えてくれる「ディクショナリー」。



ピアノモード

→ 16, 29ページ

ピアノモードは、ボタン一つでピアノ練習に適した設定に切り替える機能です。音色、ソング、自動伴奏スタイルのすべてがワンタッチでピアノモードに切り替わります。

微妙なニュアンスを表現できるタッチレスボンス付61鍵キーボード。

ファミリーソング、クリスマスソング、こどものうたなど、100曲のデモソング。

高音質、バラエティ豊かな100音色(ドラムキット含む)。最大同時発音数16。

いろいろな音楽ジャンルの演奏が楽しめる100スタイルの自動伴奏機能。

各スタイルに最適なパネル設定(ボイスなど)をボタンひとつで呼び出し、すぐに演奏できるワンタッチセッティング機能。

パネルの設定状況や、コードやメロディ表示を一目で確認できる大型液晶画面。

音楽表現の可能性を広げるMIDI機能。

音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

演奏の準備	6
電源の準備	6
ヘッドフォン/外部出力端子について	7
サステイン端子について	7
MIDI端子について	7
譜面立ての取り付け方	7

各部の名称	8
--------------	---

操作早見表	
ステップ1 ソング	10
ソングを鳴らしましょう	10
ステップ2 ソングの練習	12
ソングを練習しましょう	12
メロディガイドでソングのメロディを練習	12
A-Bリピートで繰り返し練習	13
ステップ3 自動伴奏	14
自動伴奏で演奏しましょう	14
ステップ4 ピアノモード	16
ピアノの練習をしましょう	16


基本的な操作方法(ディスプレイの見かた)	18
-----------------------------	----

ソングを聴くには...	21
100曲のソングを続けて聴くには...	21
好きな曲を1曲ずつ聴くには...	21
テンポの調整	22
ソング音量	23
ソングコントロール	24
A-Bリピート	24

ソングのメロディを自分で弾くには...	26
----------------------------	----

 ウェーディング	26
マイナスイオン	26
メロディボイスチェンジ	28


ボイス(音色)を選ぶには...	29
------------------------	----

 ピアノモード	29
メトロノーム	29
メトロノームの拍子の設定	29
メトロノーム音量の調整	30
ボイスを選ぶ	30
タッチレスボンス	31
トランスポーズ	32
チューニング	32

自動伴奏に合わせて演奏するには...	33
---------------------------	----

自動伴奏って何?	33
コード(和音)について	33
スタイルを選ぶ	35
自動伴奏のスタート	35
シンクロスタート	36
スタート	36
イントロシンクロスタート	36
自動伴奏のコードの押さえ方	37
シングルフィンガー	37
フィンガード	37
自動伴奏に合わせてメロディ演奏	38
自動伴奏音量の調整	38
伴奏パターンの切り替え	39
イントロ(イントロ/エンディングボタン)	39
メイン(メインA/Bボタン)	39
フィルイン(メインA/Bボタン)	40
エンディング(イントロ/エンディングボタン)	40
自動伴奏のストップ	40
ストップ	40
エンディング	40

コードガイドを活用しよう	41
---------------------	----

 スマートを使って、指一本でコード演奏	41
ディクショナリーでコードを調べよう	42

スタイルに合ったボイスを選ぶには... (ワンタッチセッティング)	43
--	----

マルチパッドを鳴らすには...	44
------------------------	----

マルチパッドバンクの選びかた/鳴らしかた	44
----------------------	----

MIDIを使うとこんなことができる	45
--------------------------	----

MIDIについて	45
MIDIを使ってできること	45

ボイスリスト	46
マルチパッドバンクリスト	49
MIDIインプリメンテーションチャート	50
故障かな?と思ったら	52
オプション(別売)商品のご紹介	52
PSR-240仕様	53
インデックス	54
保証とアフターサービス	55

別冊：ソングブック

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。従って実際の仕様と異なる場合があります。

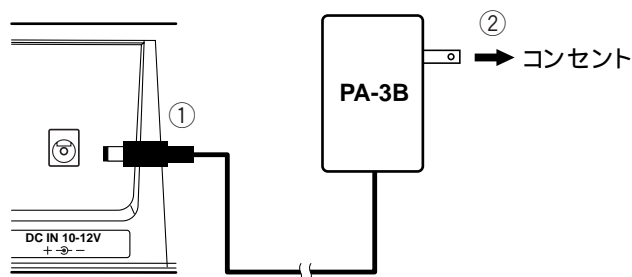
演奏の準備

電源の準備

PSR-240は、電源として、電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には付属の電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

家庭用コンセントから電源をとるときは

- ① リアパネルのDC IN 10-12V [電源アダプター] 端子へさし込みます。
- ② 家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。

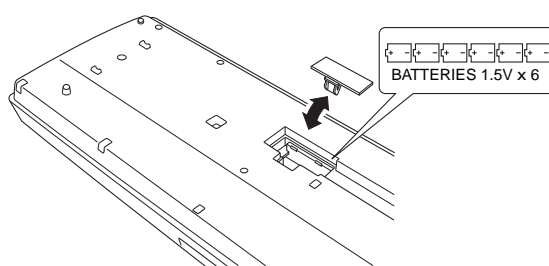


❗ 電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターPA-3Bをご使用ください。他の電源アダプターの使用は、故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

❗ 使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

乾電池を使うときは

- ① 柔らかい布などの上で裏返します。電池プタをはずします。
- ② 市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- ③ 電池プタを閉めます。



乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したりディスプレイの表示が消えたりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

❗ 乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。

❗ 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。

❗ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

メモ 乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。乾電池が入っている状態で、電源アダプターをさし込んだり抜いたりすると、PSR-240は電源を入れ直した状態になります。

同梱品について
同梱品を確認してください。

本体
電源アダプターPA-3B
譜面立て

和文シート
取扱説明書
ソングブック

保証書

ヘッドフォン/外部出力端子について



接続すると自動的にPSR-240のスピーカーから音が出なくなります。

PHONES/OUTPUT端子は外部出力端子にもなります。PHONES/OUTPUT端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、PSR-240の演奏を外部機器で鳴らすことができます。

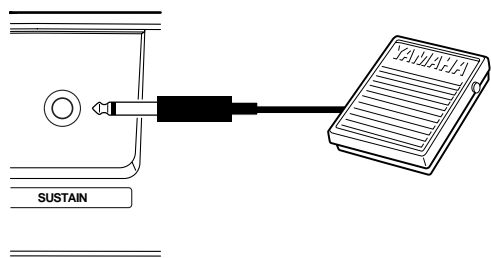


大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



PSR-240を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、電源を切る前や入れる前に外部機器の音量を最小にしてください。

サステイン端子について

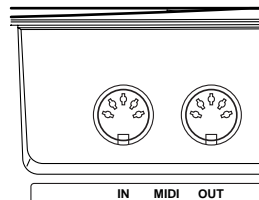


サステインとは、弾いた音に余韻を付け加える機能です。SUSTAIN[サステイン]端子にフットスイッチ(FC4またはFC5：別売)を接続すると、サステインのオン/オフ操作をフットスイッチで行えます。



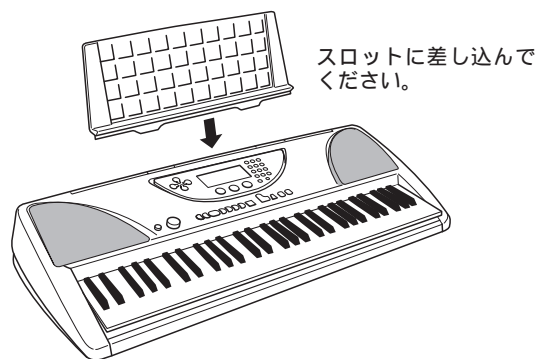
SUSTAIN[サステイン]端子にフットスイッチを接続してから電源を入れてください。フットペダルを踏みながら電源を入れないでください。

MIDI端子について



MIDIケーブルを使って外部機器に接続することにより、PSR-240の演奏を録音/再生することができます。詳細は45ページを参照してください。

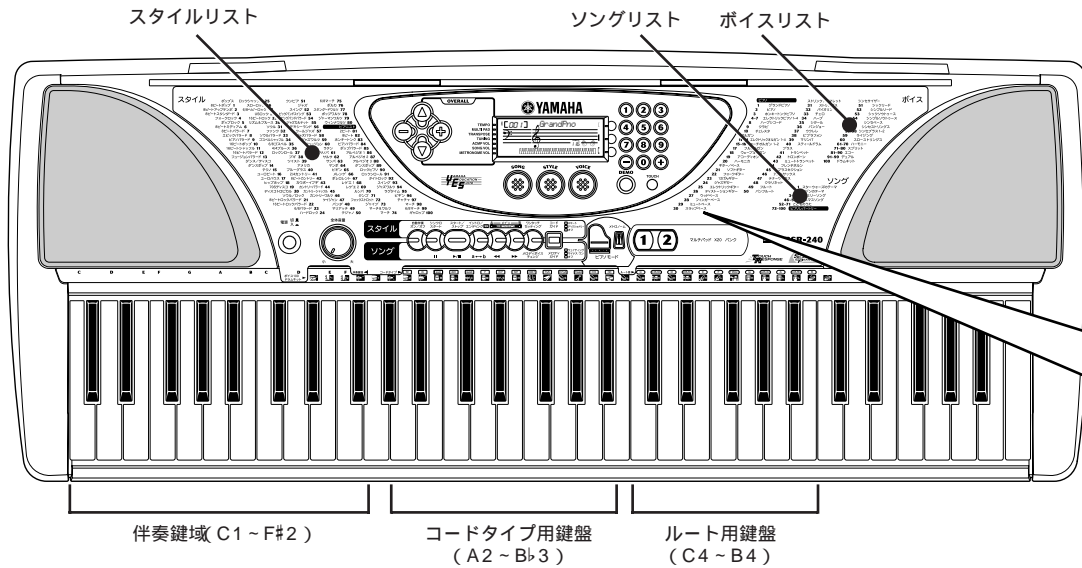
譜面立ての取り付け方



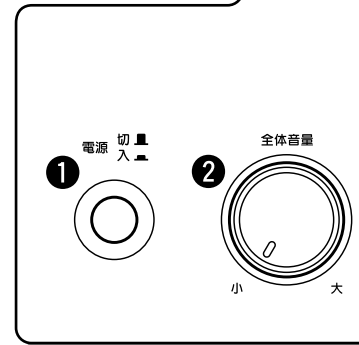
『MIDI』は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。』

各部の名称

フロントパネル



PSR-240の本体パネルは英文で表記されていますが、この取扱説明書は和文で表記/説明いたしますので、付属の和文シートをパネルにセットしてご利用ください。



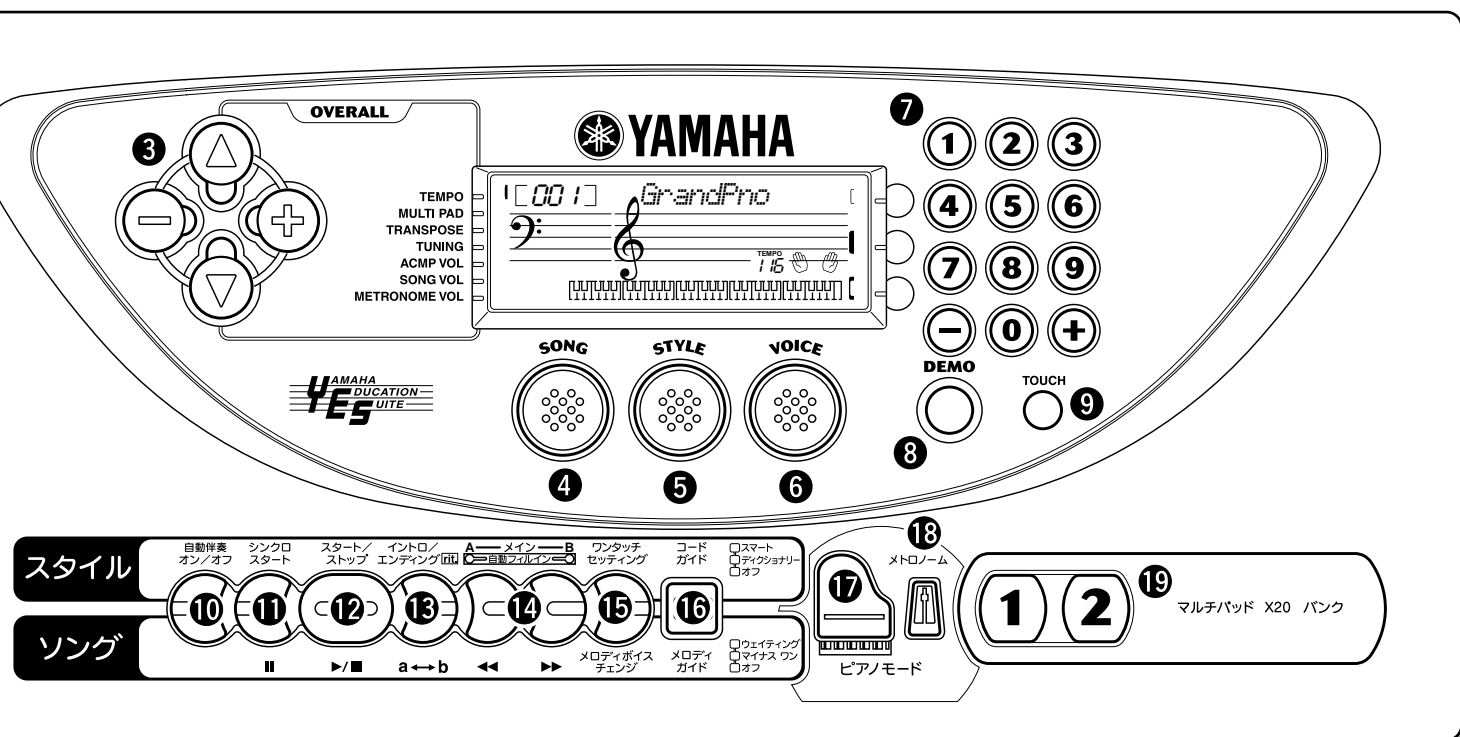
- ① 電源 入/切 (STANDBY/ON)スイッチ 18ページ
- ② 全体音量 (MASTER VOLUME)コントロール 18ページ
- ③ OVERALL(設定変更) , [+] [-]ボタン ... 18ページ
- ④ SONG(ソング)ボタン 19ページ
- ⑤ STYLE(スタイル)ボタン 19ページ
- ⑥ VOICE(ボイス)ボタン 19ページ
- ⑦ ナンバーボタン [1]-[0] [+] [-]ボタン .. 19ページ
- ⑧ DEMO(デモ)ボタン 21ページ
- ⑨ TOUCH(タッチ)ボタン 31ページ

スタイルモード時

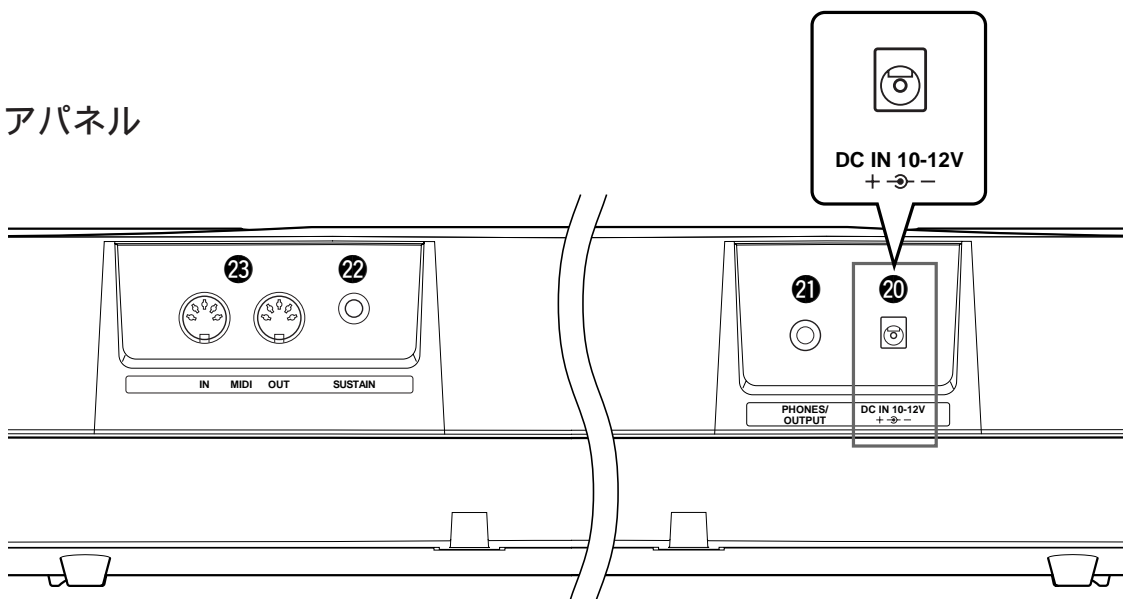
- ⑩ 自動伴奏オン/オフ (ACMP ON/OFF)ボタン .. 35ページ
- ⑪ シンクロスタート (SYNC-START)ボタン .. 36ページ
- ⑫ スタート/ストップ (START/STOP)ボタン ... 36, 40ページ
- ⑬ イン트로/エンディング (INTRO/ENDING)ボタン 39, 40ページ
- ⑭ メインA/B : 自動フィルイン (MAIN A/B : AUTO FILL)ボタン 39ページ
- ⑮ ワンタッチセッティング (OTS)ボタン 43ページ
- ⑯ コードガイド (CHORD GUIDE)ボタン 41ページ

ソングモード時

- ⑩ || [一時停止]ボタン 24ページ
- ⑪ ▶/ [再生/停止]ボタン 22ページ
- ⑫ a ↔ b [A-Bリピート]ボタン 24ページ
- ⑬ ◀/▶ [REW/FF]ボタン 24ページ
- ⑭ メロディボイスチェンジ (VOICE CHANGE)ボタン 28ページ
- ⑮ メロディガイド (MELODY GUIDE)ボタン ... 26ページ
- ⑯ ピアノモード (PORTABLE GRAND)ボタン .. 29ページ
- ⑰ メトロノーム (METRONOME)ボタン 29ページ
- ⑱ マルチパッド1/2 (MULTI PAD 1/2) 44ページ



リアパネル



- 20 DC IN 10-12V 電源アダプター 端子 6ページ
- 21 PHONES/OUTPUT [ヘッドフォン/外部出力 端子 7ページ
- 22 SUSTAIN [サステイン 端子 7ページ
- 23 MIDI IN/OUT 端子 45ページ

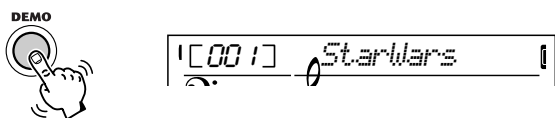
ソングを鳴らしましょう

この楽器の性能をフル活用したデモソングが100曲入っています。
好きなソングを探して聴いてみましょう。

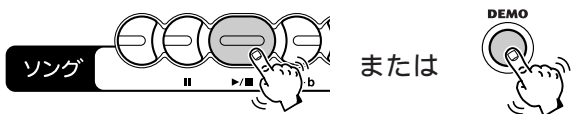
100曲続けて鳴らしましょう

PSR-240に入っている曲を続けて聴くことができます。

- 1 DEMO(デモ)ボタンを押す。



- 2 ソングをストップ。



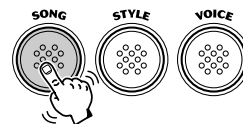
* 詳細は21ページを参照してください。



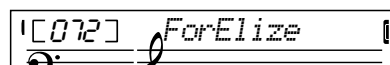
1曲ずつ鳴らしましょう

PSR-240に入っている曲から、好きな曲を選んで聴くことができます。

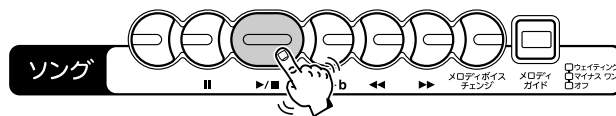
- 1 SONG(ソング)モードにする。



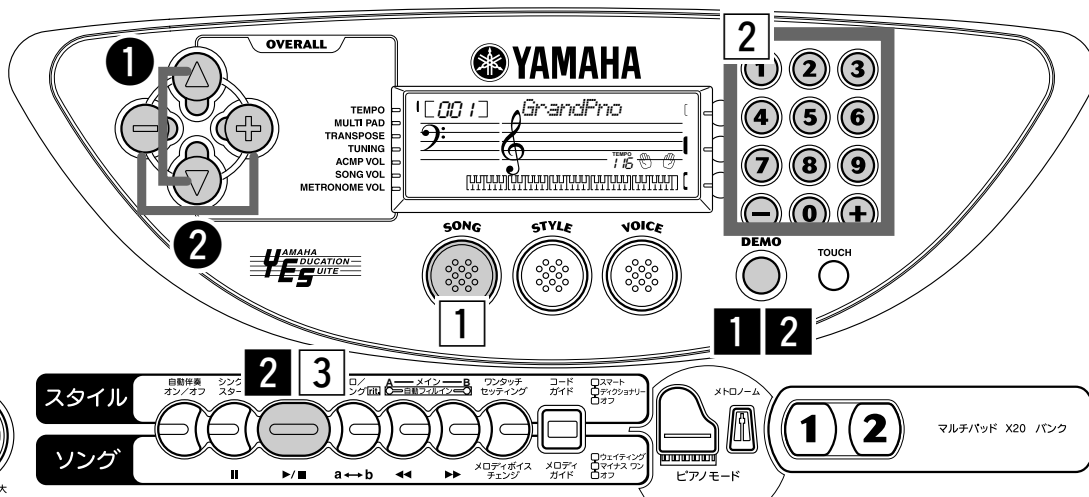
- 2 ソングを選ぶ。



- 3 ソングをスタート/ストップ。



* 詳細は21ページを参照してください。



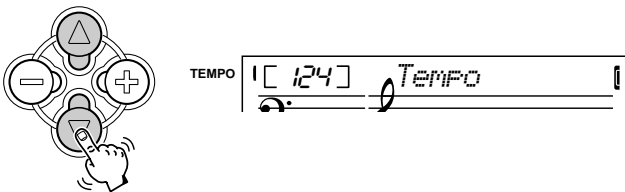
ソングリスト

- 1 スターウォーズのテーマ
- 2 アラジンのテーマ
- 3 おおスザンナ
- 4 アニー・ローリー
- 5 赤い河の谷間
- 6 アビニョンの橋の上で
- 7 朝日のあたる家
- 8 黄色いリボン
- 9 アロハ・オエ
- 10 ケンタッキーの我が家
- 11 峠のわが家
- 12 スワニー河
- 13 ロンドンデリーの歌
- 14 藁の中の七面鳥
- 15 グリーンスリーブス
- 16 茶色の小瓶
- 17 金髪のジェニー
- 18 エンターテイナー
- 19 森へ行きましょう
- 20 ドミニク
- ⋮

ソングナンバー21以降は、別冊「ソングブック」を参照してください。

テンポ(速さ)を変えてみましょう

- ① OVERALL(設定変更) または ボタンを繰り返し押し、OVERALL(設定変更)項目から「Tempo」を選ぶ。

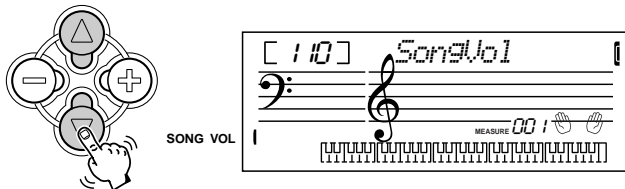


- ② OVERALL(設定変更) +] [-] ボタンを押してテンポを変える。

* 詳細は22ページを参照してください。

ソングと鍵盤演奏の音量バランスをとりましょう

- ① OVERALL(設定変更) または ボタンを繰り返し押し、OVERALL(設定変更)項目から「SongVol」を選ぶ。



- ② OVERALL(設定変更) +] [-] ボタンを押して音量を変える。

* 詳細は23ページを参照してください。

ソングを練習しましょう

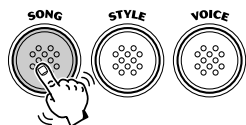
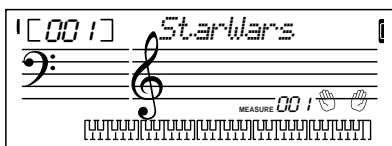
100曲のソングから気に入った曲を見つけたら、メロディ演奏にチャレンジしてみましょう。

メロディガイドでソングのメロディを練習

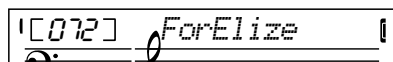
ウェイティング

あなたが鍵盤でメロディを弾くまで、伴奏がストップして待っていてくれます。自分のペースで1音ずつ練習しましょう。

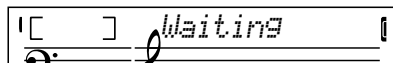
- 1 SONG(ソング)モードにする。



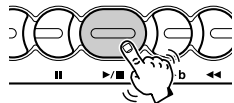
- 2 ソングを選ぶ。



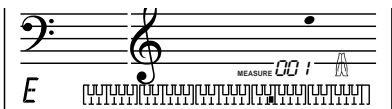
- 3 メロディガイド「Waiting(ウェイティング)」を選ぶ。



- 4 ソングをスタート。

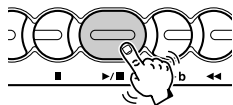


伴奏がメロディを弾くまで待ってくれます。押さえる鍵盤が画面に表示されます。



鍵盤を押さえるとソングが再スタート。次の鍵盤を押さえるタイミングでソングがストップ。これを繰り返して練習します。

- 5 ソングをストップ。

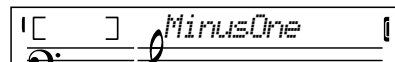
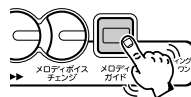


* 詳細は26ページを参照してください。

マイナスイワン

ソングのメロディ演奏だけが鳴りません。カラオケのようにメロディを自分で演奏してみましょう。

- 1 SONG(ソング)モードにする。
- 2 ソングを選ぶ。
- 3 メロディガイド「MinusOne(マイナスイワン)」を選ぶ。



- 4 ソングをスタート。
ソングのメロディ演奏がカラオケのように消えます。自分でメロディを演奏してみましょう。
- 5 ソングをストップ。

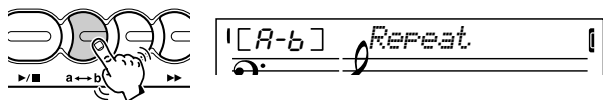
* 詳細は26ページを参照してください。

A-Bリピートで繰り返し練習

A-Bリピート

ソングの一部だけを繰り返し練習します。練習範囲を決めて繰り返し何度も練習しましょう。

- 1 SONG(ソング)モードにする。
- 2 ソングを選ぶ。
- 3 ソングをスタート。
- 4 **a↔b** ボタンを押して、A(開始位置) B(終了位置)を設定する。



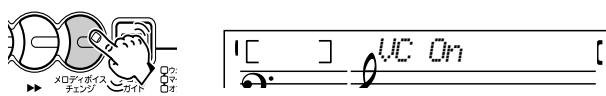
「A-B」の範囲で繰り返し演奏されます。練習したい部分をよく聞いて練習しましょう。
もう一度 **a↔b** ボタンを押すと、解除されます。

* 詳細は24ページを参照してください。

メロディのボイスを変えてみましょう

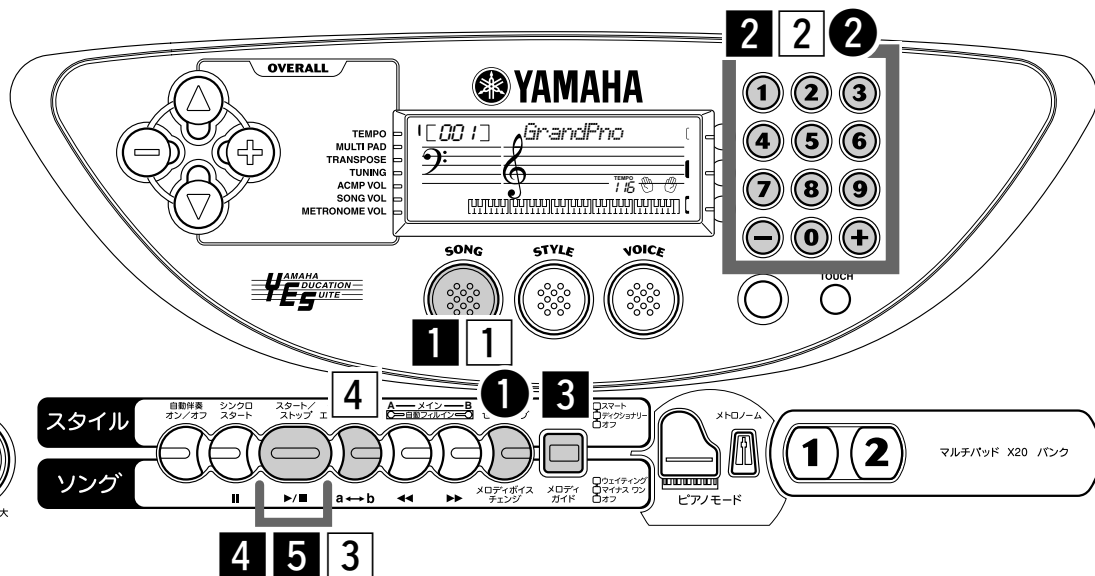
メロディボイスチェンジ

- 1 メロディボイスチェンジを「オン」にする。



- 2 ボイスを選ぶ。(鍵盤演奏とソングのメロディが同じ音色になります。)

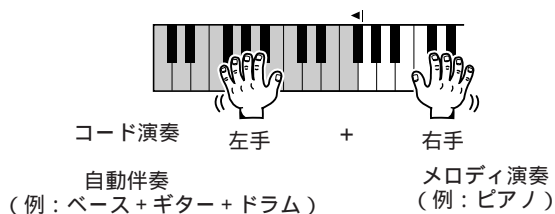
* 詳細は28ページを参照してください。



自動伴奏で演奏しましょう

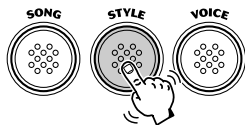
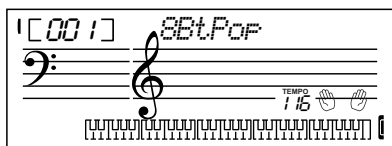
自動伴奏機能は、左手でコード(和音)を押さえるだけで、そのコードに合った伴奏(ベース音とコード音)が鳴る機能です。伴奏をバックに右手でメロディ演奏が楽しめます。

コードの押さえ方は、「自動伴奏のコードの押さえ方」(37ページ)や、「コードガイドを活用しよう」(41ページ)を参照してください。

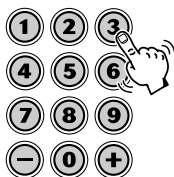


自動伴奏

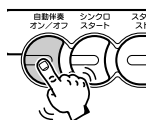
1 STYLE(スタイル)モードにする。



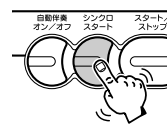
2 スタイルを選ぶ。



3 自動伴奏をオンにする。



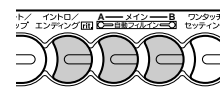
4 シンクロスタートをオンにする。



5 コード(左手)を演奏する。



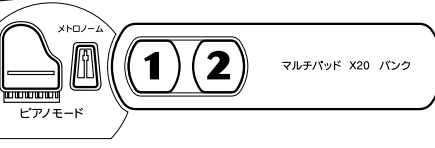
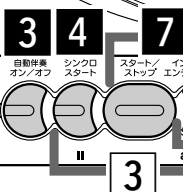
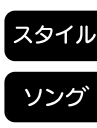
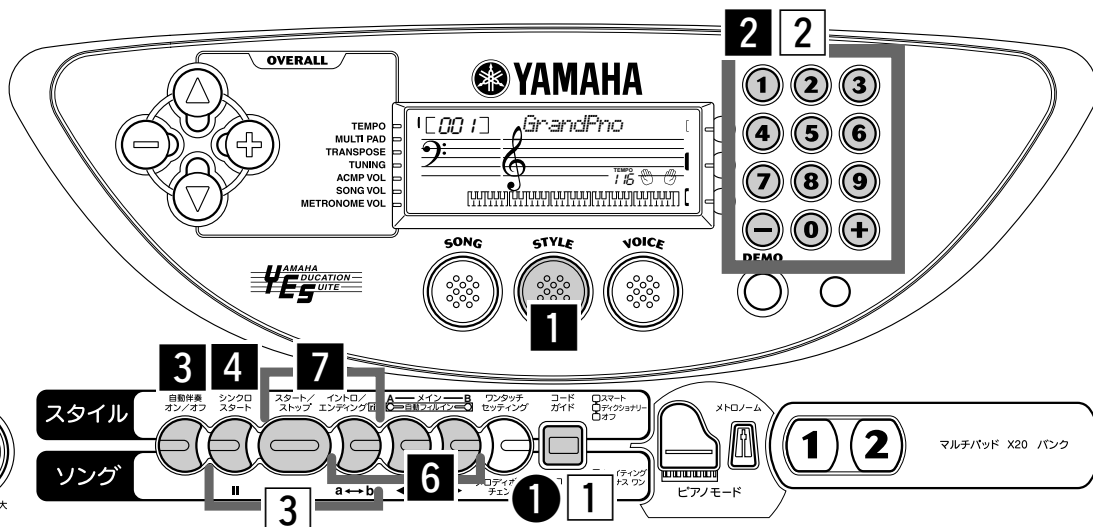
6 必要に応じて伴奏のパターンを切り替える。イントロ、メインA/B、エンディングを聴いてみましょう。



7 自動伴奏をストップする。



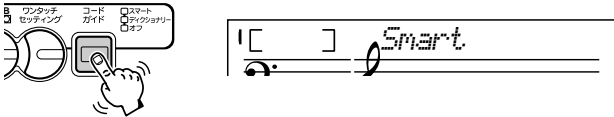
* 詳細は33ページを参照してください。



曲調に合ったコードを指1本で押さえましょう

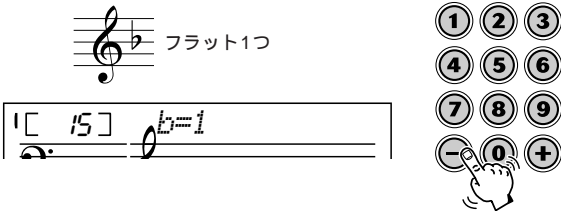
スマート

- 1 コードガイド「Smart(スマート)」を選ぶ。

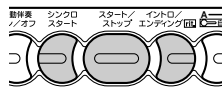


- 2 弾きたい曲の調を設定する。

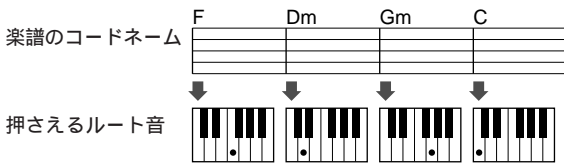
[+][-]ボタンで、楽譜の「#」または「b」の数を合わせます。



- 3 自動伴奏をスタートする。



- 4 コードのルート(根音)を押さえる。



* 詳細は41ページを参照してください。

コードの押さえ方を勉強しましょう

ディクショナリー

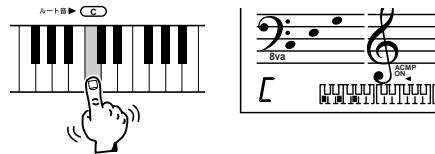
例)



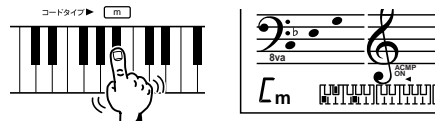
- 1 コードガイド「Dict(ディクショナリー)」を選ぶ。



- 2 知りたいコードのルート音を押す。
下記鍵盤イラスト参照



- 3 知りたいコードのコードタイプを押す。
下記鍵盤イラスト参照

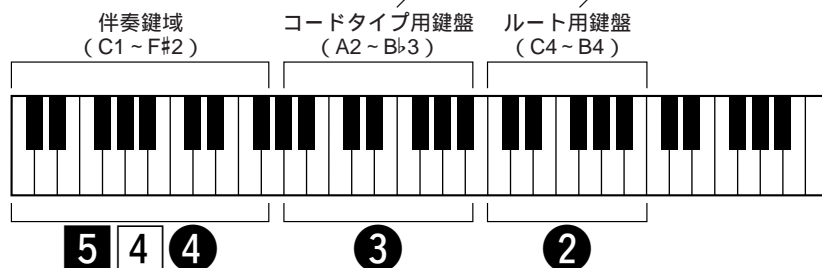


- 4 画面の鍵盤ガイドにしたがって、左側の鍵盤(伴奏鍵域)を左手で押さえる。
正しく押さえると、画面のコード名が点滅します。



* 詳細は42ページを参照してください。

ディクショナリーに使用する鍵盤です。

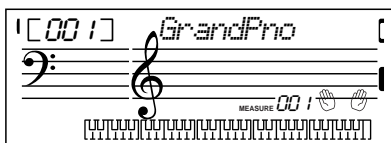


ピアノの練習をしましょう

ボイス/ソング/スタイル/マルチパッドの設定は、ピアノモードボタンを押すだけで、ピアノ演奏に適したものに変わります。ピアノの練習をする時にとても便利な機能です。

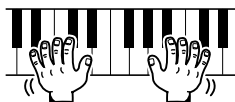
ピアノモード

1 ピアノモードボタンを押す。



SONG(ソング)モードになります。ボイスに「グランドピアノ」が選ばれます。

2 演奏する。



ピアノモードで設定される内容

ソング「72 エリーゼのために」

▶ / ボタンを押すと「エリーゼのために」を再生

ソングの「72~100 ピアノレパートリー」にはピアノ演奏に適した曲が入っています。

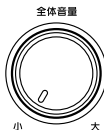
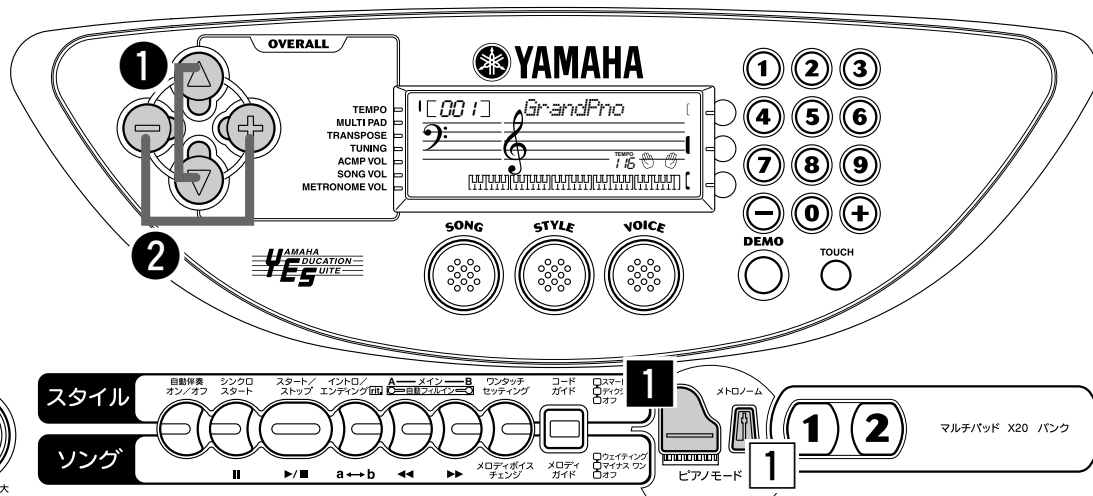
スタイル.....「81 2ビート」

STYLE(スタイル)モードにして、自動伴奏をオン
スタート/ストップボタンを押して、コードを押さえると
「2ビート」の自動伴奏が鳴る

スタイルの「81~100 ピアニスト」にはピアノ伴奏に適したスタイルが入っています。

ソングリスト「ピアノレパートリー」

- | | | |
|-------------------|------------------------|-----------------------|
| 72 エリーゼのために | 82 ます | 92 G線上のアリア |
| 73 トルコ行進曲(ベートーベン) | 83 楽しき農夫 | 93 春の歌 |
| 74 トルコ行進曲(モーツァルト) | 84 乙女の祈り | 94 ドナウ川のさざなみ |
| 75 小犬のワルツ | 85 ポロネーズ | 95 ジムノペディ第1番 |
| 76 シューベルトの野ばら | 86 ピチカート・ポルカ | 96 主よ人の望みの喜びよ |
| 77 メヌエット | 87 行進曲(「くるみ割り人形」より) | 97 カノン |
| 78 トロイメライ | 88 あし笛の踊り(「くるみ割り人形」より) | 98 メヌエット(ラバース・コンチェルト) |
| 79 別れの曲 | 89 花のワルツ(「くるみ割り人形」より) | 99 ブラームスの子守歌 |
| 80 愛の夢 | 90 新世界より | 100 シューベルトの子守歌 |
| 81 ガボット | 91 ユーモレスク | |



メトロノームを鳴らしながら練習しましょう

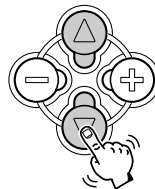
- 1 メトロノームボタンを押す。



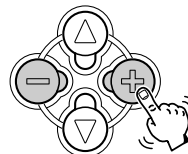
* 詳細は29ページを参照してください。

メトロノームの音量を変えてみましょう

- 1 OVERALL(設定変更) または ボタンを繰り返し押して、OVERALL(設定変更)項目から「MtrVol」を選ぶ。



- 2 OVERALL(設定変更) + [] - ボタンを押して音量を変える。



* 詳細は30ページを参照してください。

マルチパッド ... マルチパッドバンク「1 ピアニスト1」
マルチパッド1/2を押すと、ピアノに合ったフレーズを再生

自動伴奏に合わせて押すと、コードに合った音程で鳴ります。

* 詳細は29ページを参照してください。

スタイルリスト「ピアニスト」

81	2ビート	93	スイング
82	8ビート	94	ジャズワルツ
83	ホンキートンク	95	ラグタイム
84	ピアノバラード	96	ビギン
85	ポップバラード	97	チャチャ
86~88	アルペジオ1~3	98	マーチ
89	ダンスポップ	99	6/8マーチ
90	ロックピアノ	100	ギャロップ
91	ロックンロール		
92	タイトロック		



基本的な操作方法(ディスプレイの見かた)

電源オン

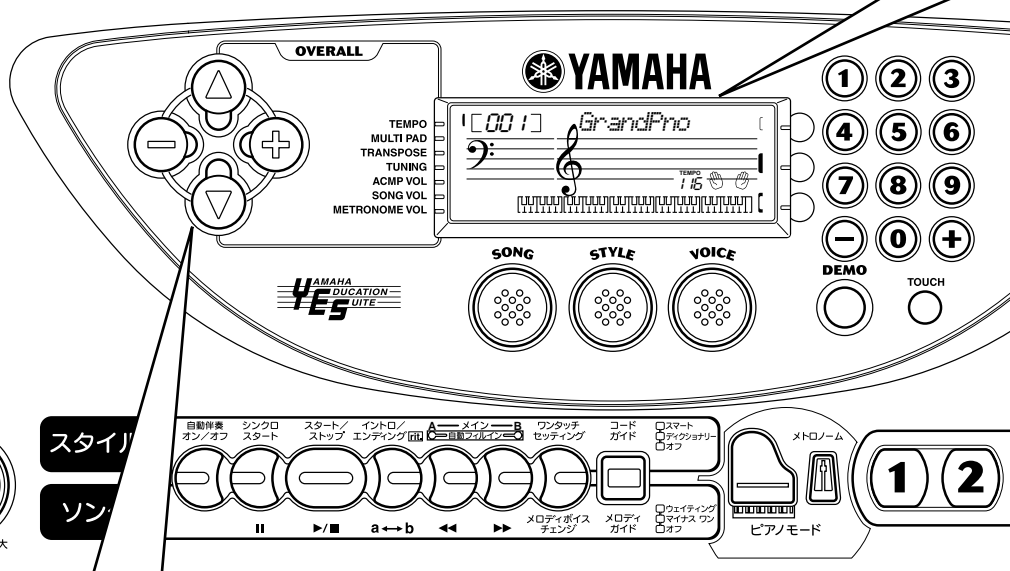
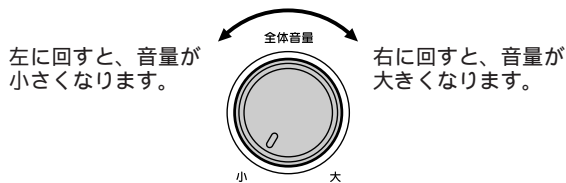
電源入/切スイッチを押すと、電源が入ります。
もう一度押すと電源が切れます。



! スイッチが「切」の状態でも微電流が流れています。
PSR-240を長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜いてください。

音量の調節

全体音量コントロールを回します。



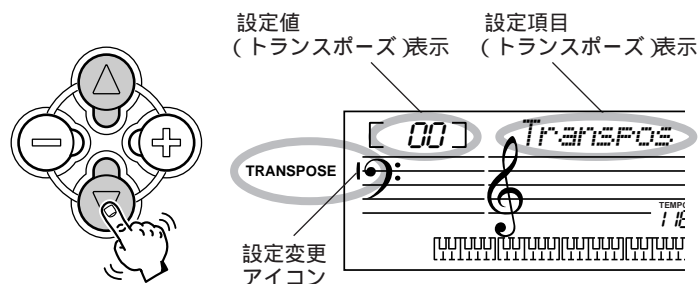
OVERALL(設定変更)表示

OVERALL(設定変更)では、PSR-240全体に関するさまざまな設定が行えます。

- ・テンポ 22ページ
- ・マルチパッドバンク 44ページ
- ・トランスポーズ 32ページ
- ・チューニング 32ページ
- ・自動伴奏音量 38ページ
- ・ソング音量 23ページ
- ・メトロノーム音量 30ページ

OVERALL(設定変更) または ボタンを押すと、ディスプレイ左端の設定変更アイコンが移動し、ディスプレイには現在選ばれている「設定項目」と「設定値」が表示されます。さらにOVERALL(設定変更) または ボタンを押すと、設定項目が変わります。

例)トランスポーズの場合



メモ 設定変更表示はしばらくそのままにすると、モードの「ネームとナンバー」表示に戻ります。

ネーム&ナンバー表示 (ソング/ボイス/スタイル)

ディスプレイには、現在選ばれているモードの「ネームとナンバー」が表示されます。

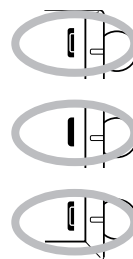
例)SONG(ソング)モードの場合



モードの選びかた

SONG(ソング)/VOICE(ボイス)/STYLE(スタイル)ボタンを押すと、モードを選ぶことができます。(選ばれているモードのアイコンが表示されます。)

- ・SONG(ソング)モード
聴きたいソングや練習したいソングを選ぶとき
- ・VOICE(ボイス)モード
鍵盤で演奏する音色を選ぶとき
- ・STYLE(スタイル)モード
スタイルを選ぶとき



SONG(ソング)/STYLE(スタイル)モードを選んだ後にVOICE(ボイス)モードを選ぶと、次のような表示になります。

SONG(ソング)モードで
鍵盤の音色を選ぶ場合

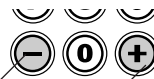


STYLE(スタイル)モードで
鍵盤の音色を選ぶ場合



ナンバーの選びかた

ナンバーをひとつずつ変えるには、[+][−]ボタンを使用します。

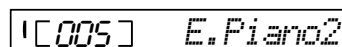


一度押すと、ひとつ
小さなナンバーに 一度押すと、ひとつ
大きなナンバーに 押し続けると、
ナンバーが連続
で増減します。

SONG(ソング)/VOICE(ボイス)/STYLE(スタイル)ボタンを押すと、それぞれのナンバーが増加し、押し続けると連続で増加します。

直接ナンバーを選ぶには、ナンバーボタン[1]~[0]を使用します。

例)「5 エレクトリックピアノ2」を選ぶ場合



ナンバーボタンの[5] または [0][5] を押すと、ナンバーが点滅します。しばらくそのままにすると、ナンバーが通常表示に変わり確定します。

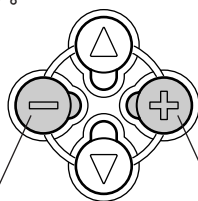


「100の位」「10の位」「1の位」の順番で、ナンバーボタンを続けて3つ押せば、すぐにナンバーが確定します。1桁の数字の場合は先頭に「00」を、2桁の数字の場合は「0」を付けます。

ナンバーが「11~99」の場合は、「10の位」「1の位」の順でナンバーボタンを押すと、ナンバーが早く確定します。

設定値の変えかた

設定値の変更はOVERALL(設定変更)[+][−]ボタンを使用します。



一度押すと、ひとつ
小さなナンバーに

一度押すと、ひとつ
大きなナンバーに

押し続けると、ナンバーが連続で増減します。

マルチパッド X20 パンク

楽譜表示

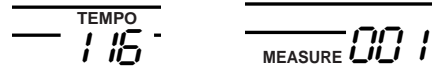
メロディガイドの時はソングのメロディ符を、コードガイドの時はコードの構成音を表示します。通常は押した鍵盤を表示します。



1音でもオクターブ上の音が存在する場合は五線譜の上に「8va」が、オクターブ下の音が存在する場合は五線譜の下に「8va」が表示されます。

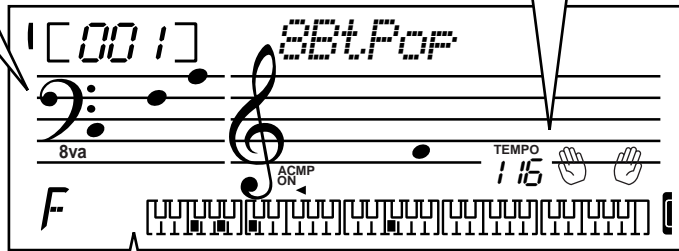
テンポ (TEMPO) / 小節 (MEASURE) 表示

「TEMPO」表示の時は伴奏やソングなどのテンポ(曲の速さ)を、「MEASURE」表示の時はソングの小節番号を表示します。



ビート表示

伴奏やソングのビート(拍)を、手拍子のアイコンで表示します。



コード表示

ソングで使われているコードや、鍵盤で押さえたコード名などを表示します。



鍵盤表示

メロディガイドではソングのメロディ符を、コードガイド機能ではコードの構成音を、ディスプレイの鍵盤イラストで分かりやすく表示します。



自動伴奏オン (ACMP ON) 表示

自動伴奏機能のオン/オフを表示します。



液晶表示のバックライトは、長時間使用すると暗くなることがあります。表示が暗くなり見にくくなった時は、お買い上げの販売店、または巻末のヤマハ電気音響サービス拠点迄、交換をご依頼ください。有償にて交換させていただきます。

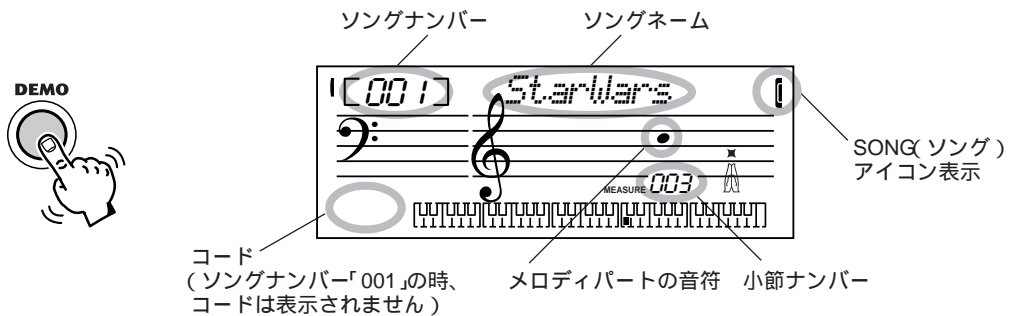


ソングを聴くには...

PSR-240には、バラエティー豊かなソングが100曲入っています。好きなソングを探して聴いてみましょう。

100曲のソングを続けて聴くには...

DEMO(デモ)ボタンを押します。
100曲のソングをソングナンバー順に、連続してデモ再生します。

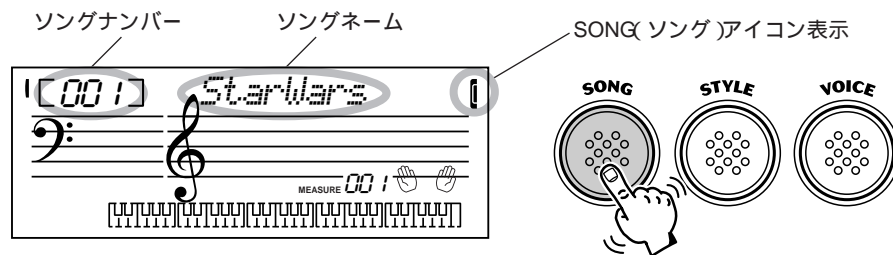


▶ / ボタン、またはDEMO(デモ)ボタンを押すと、デモ再生がストップします。



好きな曲を1曲ずつ聴くには...

1 SONG(ソング)モードを選びます。
SONG(ソング)ボタンを押して、SONG(ソング)モードを選びます。



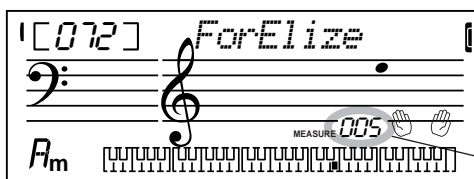
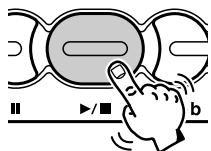
2 ナンバーボタンでナンバーを選びます。
ナンバーの選びかた 19ページ



3

ソングをスタート/ストップします。

▶/ ボタンを押すと、ソングがスタートします。ソングに合わせて鍵盤で演奏できます。
もう一度▶/ ボタンを押すと、ソングがストップします。



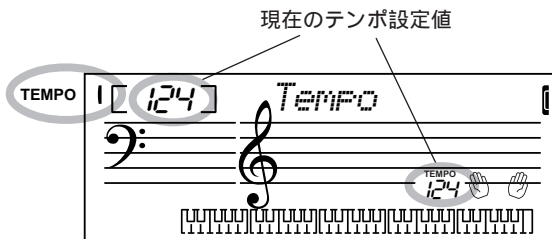
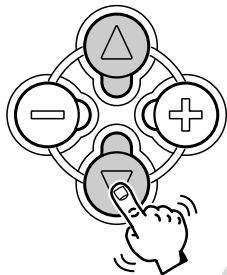
小節ナンバー

テンポの調整

ソング/スタイルのテンポを「♩=40~240(1分間の4分音符の数)」の範囲で調整します。

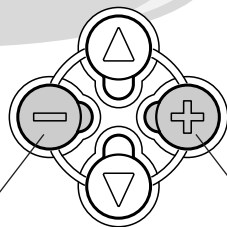
1

ディスプレイに「Tempo」が表示されるまでOVERALL(設定変更) または ボタンを繰り返し押します。



2

OVERALL(設定変更) +] [-] ボタンを押して、テンポ設定値を変更します。



テンポ設定値が減少し、テンポが遅くなります。

テンポ設定値が増加し、テンポが速くなります。



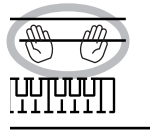
リズムがストップしている時にスタイルを選ぶと、そのスタイルに最適なテンポが自動的に設定されます。リズム演奏中にスタイルを変更してもテンポは変わりません(ワンタッチセッティングがオンの場合を除く)。

ソングを選ぶと、そのソングに最適なテンポが自動的に設定されます。

OVERALL(設定変更) +] [-] ボタンを同時に押すと、現在選ばれているソング・スタイルに最適なテンポ値が設定されます。

ビートディスプレイについて

ソング/スタイルの演奏中は、設定されたテンポに合わせて手拍子のアイコンが点滅します。



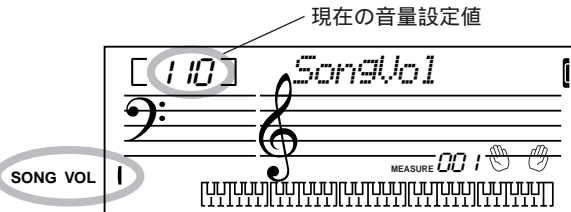
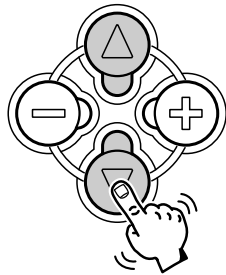
	1拍目	2拍目	3拍目	4拍目
4拍子系				
3拍子系				

ソング音量

ソングの音量を変更して、鍵盤演奏とのバランスをとります。

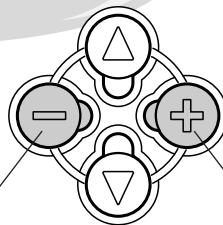
1

ディスプレイに「SongVol」が表示されるまでOVERALL(設定変更) または ボタンを繰り返し押します。



2

OVERALL(設定変更) +] [-] ボタンを押して、ソングの音量を000 ~ 127の範囲で 変更します。



設定値が減少し、音量が小さくなります。

設定値が増加し、音量が大きくなります。



OVERALL(設定変更) +] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定値の「110」に戻ります。
STYLE(スタイル)モードの時は、ソングボリュームを変更することはできません。

ソングコントロール

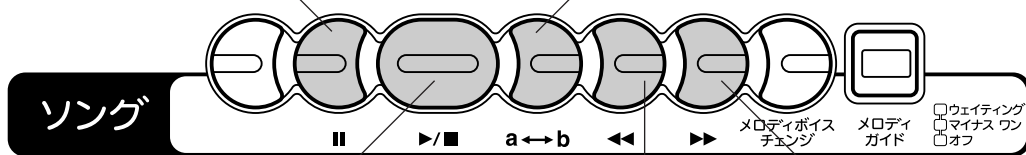
PSR-240のソングは下記のボタンを押すことにより、テープレコーダーのように操作することができます。

|| [一時停止] ボタン

ソングを一時停止します。もう一度押すと一時停止した位置から再生がスタートします。

a ↔ b [A-Bリピート] ボタン

指定した曲の一部分を繰り返し再生(A-Bリピート)します。詳細は下記を参照してください。



▶/ [再生/停止] ボタン

ソングの再生をスタートします。もう一度押すとストップします。

◀◀ [REW: 巻き戻し] ボタン

再生中に押すとソングを巻き戻します。停止中に押すと小節ナンバーが減少します。巻き戻し中は、ソングは再生されません。

▶▶ [FF: 早送り] ボタン

再生中に押すとソングを早送りします。停止中に押すと小節ナンバーが増加します。

A-Bリピート

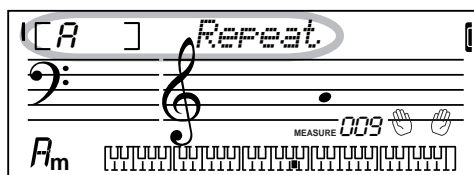
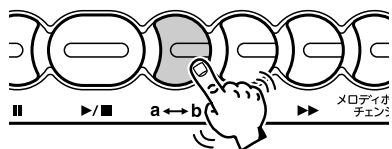
自分が練習したいソングの一部分に「A(リピートの始まり)」「B(リピートの終り)」のマークを付けて、その間の演奏を繰り返し再生します。

1

「好きな曲を1曲ずつ聴くには...」(21ページ)を参照して、A-Bリピートしたいソングをスタートします。

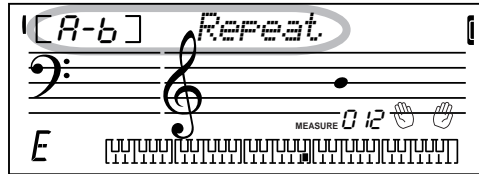
2

ソングの再生中に **a ↔ b** ボタンを押して、A-Bリピートの開始位置(A)をマークします。ディスプレイに「A Repeat」が表示されます。



3

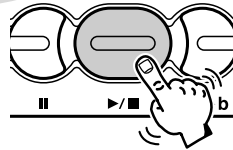
A-Bリピートの終了位置になったら、**a** ↔ **b** ボタンを押して(B)をマークします。ディスプレイに「A-b Repeat」が表示され、A-B間が繰り返し再生されます。



A-Bリピートは、小節単位でリピートします。

4

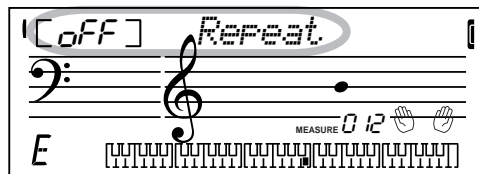
▶/ ボタンを押して、ソングをストップします。もう一度▶/ ボタンを押すと、再びA-Bリピートを行います。



A-Bリピートのキャンセル

a ↔ **b** ボタンを押すと、A-Bリピートはキャンセルされ、ディスプレイに「off Repeat」が表示されます。

A-Bリピート(再生)中にキャンセルすると、そのまま通常の再生を続けます。



ソングナンバーを変えると、A-Bリピートはキャンセルされます。

STYLE(スタイル)モードに移ると、A-Bリピートはキャンセルされます。

停止中でも◀◀, ▶▶ボタンで小節を移動すれば、A-Bリピートは設定できます。

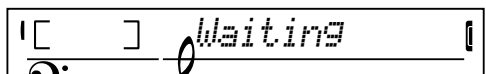
ソングのメロディを自分で弾くには...

PSR-240に入っているソングのメロディを練習するには、メロディガイドが便利です。メロディガイドには「ウェイティング」と「マイナスワン」の2種類があります。

演奏する時は、別冊「ソングブック」の楽譜を参考にしてください。

ウェイティング

メロディ演奏で、次に押さえる鍵盤をディスプレイに表示します。表示された鍵盤を押さえるまで、ソングの演奏はストップして待っています。上手に演奏できるようになったら、次のマイナスワンで演奏してみましょう。



- ① ソング演奏はメロディを弾くタイミングでストップ。ディスプレイに押さえる鍵盤が表示される。
- ② 表示された鍵盤を押さえよう。ソング演奏が再スタート。
- ③ 次のメロディを弾くタイミングで、再びストップ。ディスプレイに押さえる鍵盤が表示される。
- ④ 手順②-③を繰り返して最後まで演奏しよう。

マイナスワン

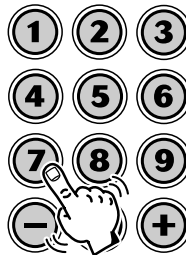
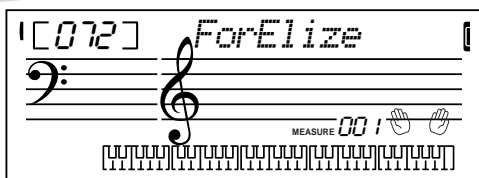
ソングのメロディ部分を消す機能です。カラオケのように、メロディ部分を自分で弾いてみましょう。



- ① ソングは、カラオケのようにメロディ抜きで演奏されます。ディスプレイに押さえる鍵盤が表示される。
- ② 伴奏に合わせて表示された鍵盤を押さえよう。

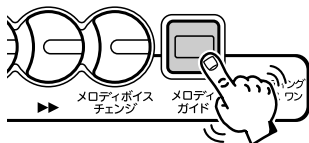
1

「好きな曲を1曲ずつ聴くには...」(21ページ)の手順 1-2を参照して、練習したいソングを選びます。

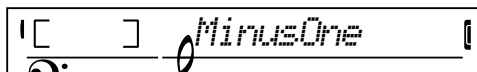


2

メロディガイドボタンを押して、「Waiting(ウェイティング)」または「MinusOne(マイナスワン)」を選びます。「Off(オフ)」を選ぶとメロディガイドははたらきません。



ウェイティング



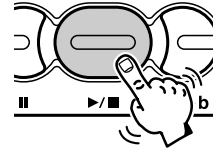
マイナスワン



メロディガイドオフ

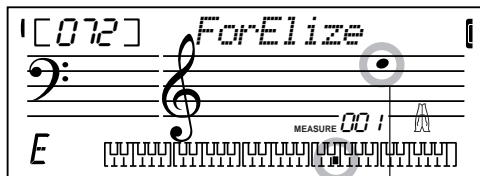
3

▶ / ボタンを押すと、ソングがスタートします。それぞれのガイドに従って演奏してみましょう。

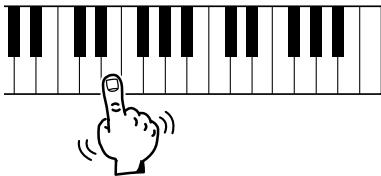


ウェイティングの場合

メロディを弾くタイミングでソングがストップします。ディスプレイのガイド(音符と鍵盤)に従って、鍵盤を押さえるとソングの続きが再スタートします。



メロディの音符と鍵盤位置を表示してストップ



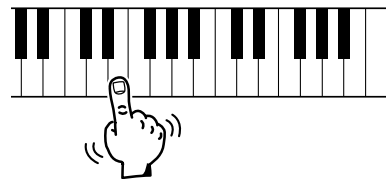
押さえた鍵盤の音名を表示
鍵盤を正しく押さえると再スタートして次の音符へ...



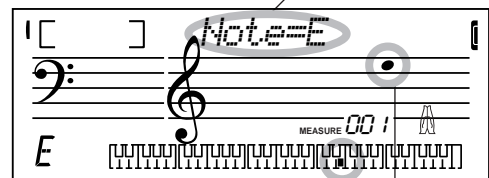
「ウェイティング」の演奏中は、リズムトラックの音は鳴りません。

マイナスイオンの場合

メロディパートの音が消えます。ディスプレイの音符や鍵盤、楽譜を見ながらメロディパートを演奏しましょう。



押さえた鍵盤の音名を表示



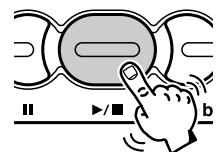
メロディの音符と鍵盤位置を表示



メロディガイドボタンを押して「Off(オフ)」を表示させると、メロディパートが演奏されます。

4

▶ / ボタンを押すと、ソングがストップします。また、曲の終わりまで再生すると自動的にストップします。



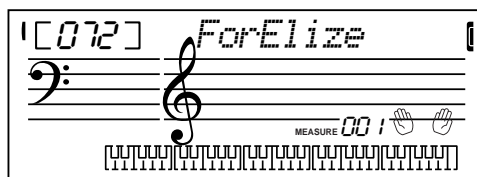
ソングナンバーを変更したり、デモをスタートさせたり、STYLE(スタイル)モードやピアノモード(29ページ参照)を選択した場合は、メロディガイドの設定は「オフ」になります。

メロディボイスチェンジ

メロディボイスチェンジ機能を使用すれば、ソングのメロディ音色を、PSR-240の100音色から選択することができます。この場合、メロディ音色と同じ音色が鍵盤の音色にも選ばれます。

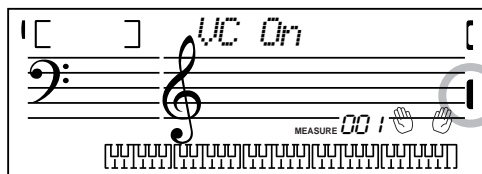
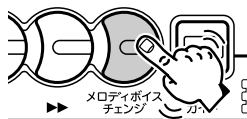
1

「好きな曲を1曲ずつ聴くには...」(21ページ)の手順 1-2を参照して、練習したいソングを選びます。



2

メロディボイスチェンジボタンを押すと、メロディボイスチェンジがオンになり、ディスプレイに「VC On」が表示されます。(この時、自動的にVOICE(ボイス)モードになります。)



しばらくすると、現在選ばれているソングのメロディに使用されている音色のネームとナンバーが表示されます。鍵盤の音色も同じものになります。



「SG」が表示される場合があります。(48ページ参照)



3

ナンバーボタン[1]-[0]、[+]、[-]ボタンを使って、鳴らしたいメロディ音色を選びます。

メロディ音色が変わると同時に、鍵盤の音色も同じものになります。

ボイス(音色)を選ぶには...

ピアノモード



PSR-240はさまざまな機能を持っていますが、「とにかくピアノの練習をしたい」という時には、ピアノモードボタンを押します。

ピアノモードボタンを押すと、PSR-240のすべての設定がピアノ演奏用にワンタッチで切り替わります。



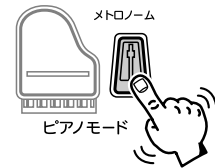
ピアノモードで設定される内容

- ・ボイス..... 001 グランドピアノ
- ・モード..... SONG(ソング)
...ボイス選択状態
- ・自動伴奏..... オフ
- ・テンポ..... 124
(「エリーゼのために」の初期設定値)
- ・ソング音量..... 110
- ・メトロノーム音量... 100
- ・設定変更..... テンポ
- ・ソング.....「72 エリーゼのために」
▶/ ボタンを押すと「エリーゼのために」を再生
ソングの「72~100 ピアノレパートリー」にはピアノ演奏に適した曲が入っています。
- ・スタイル.....「81 2ビート」
STYLE(スタイル)モードにして、自動伴奏をオン
スタート/ストップボタンを押して、コードを押さえると「2ビート」の自動伴奏が鳴る
スタイルの「81~100 ピアニスト」にはピアノ伴奏に適したスタイルが入っています。
- ・マルチパッド... マルチパッドバンク「1 ピアニスト1」
マルチパッド1/2を押すと、ピアノに合ったフレーズを再生
自動伴奏に合わせて押すと、コードに合った音程で鳴ります。

メトロノーム

メトロノームボタンを押すと、ソングやスタイルのテンポに合わせてメトロノームの音が鳴ります。ピアノの練習に活用しましょう。メトロノームは1拍目に高い音が鳴ります。

もう一度押すとメトロノームの音がストップします。



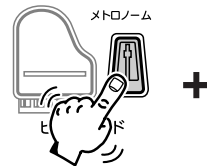
メモ メトロノームの速さは「テンポの調整」で調整します。(22ページ参照)

メトロノームの拍子の設定

メトロノームボタンを押しながらナンバーボタン[1]~[9]を押すと、メトロノームの拍子が変わります。2拍子にしたいときはナンバーボタン[2]を、3拍子にしたいときはナンバーボタン[3]を押します。



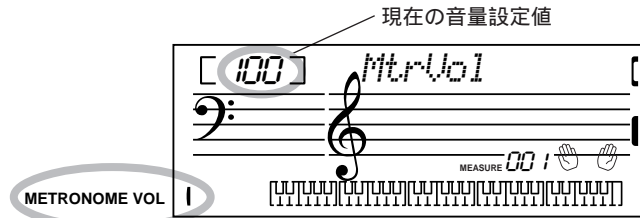
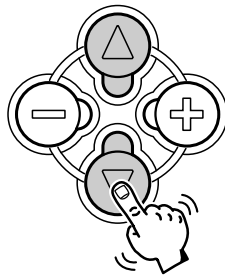
拍子を「0」に設定すると「高い音が鳴らない状態」になります。
拍子の設定はメトロノーム機能が「オン」の状態です。設定することができます。
スタイルやソングの再生中は拍子を変更できません。
スタイルやソングを変更すると、拍子は自動的に切り替わります。



ナンバーボタン	拍子	ナンバーボタン	拍子
1	1/4 (すべて高い音)	6	6/4
2	2/4	7	7/4
3	3/4	8	8/4
4	4/4	9	9/4
5	5/4	0	-(高い音が鳴らない状態)

メトロノーム音量の調整

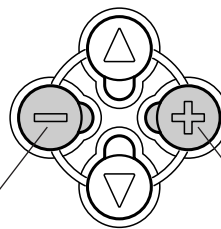
- 1 ディスプレイに「MtrVol」が表示されるまでOVERALL(設定変更) または ボタンを繰り返し押しします。



- 2 OVERALL(設定変更) [+] [-] ボタンを押して、メトロノームの音量を000~127の範囲で変更します。



OVERALL(設定変更) [+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。



設定値が減少し、音量が小さくなります。

設定値が増加し、音量が大きくなります。

ボイスを選ぶ

PSR-240には、先進のAWM(アドバンスド・ウェーブ・メモリー)音源を利用した高品質な100種類の音色が入っています。100音色の中には、以下のように効果付きの音色もあります。

ハーモニー音色(61~70)

演奏した音に加え、1~2音のハーモニー音が自動的に付きます。

スプリット音色(71~80)

C3より右の鍵盤で一つの音色、B2より左の鍵盤でもう一つの音色が演奏できます。

エコー音色(81~90)

エコー(こだま効果)がかかった音色です。

デュアル音色(91~99)

鍵盤を弾くと2つのボイスが重なって鳴ります。

ドラム音色(90, 100)

鍵盤を弾いて、いろいろなドラムサウンドが楽しめます。31ページ「ドラム/パーカッションリスト」

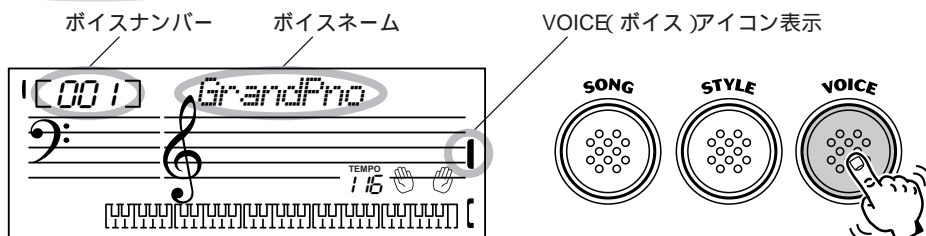


ハーモニー音色で効果がかかるのは1音だけです。複数の鍵盤を押さえると、いちばん高い音、または最後に押さえられた音に対してハーモニー音が付けられます。

音色ごとに、最適なハーモニーのタイプがセットされます。

- 1 VOICE(ボイス)モードを選びます。

VOICE(ボイス)ボタンを押して、VOICE(ボイス)モードを選びます。

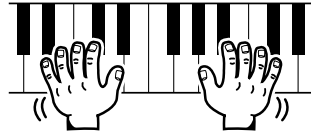


2 ナンバーボタンでボイスナンバーを選びます。

ナンバーの選びかた 19ページ

3 演奏してみましょう。

いろいろなボイスを選んで演奏してみましょう。

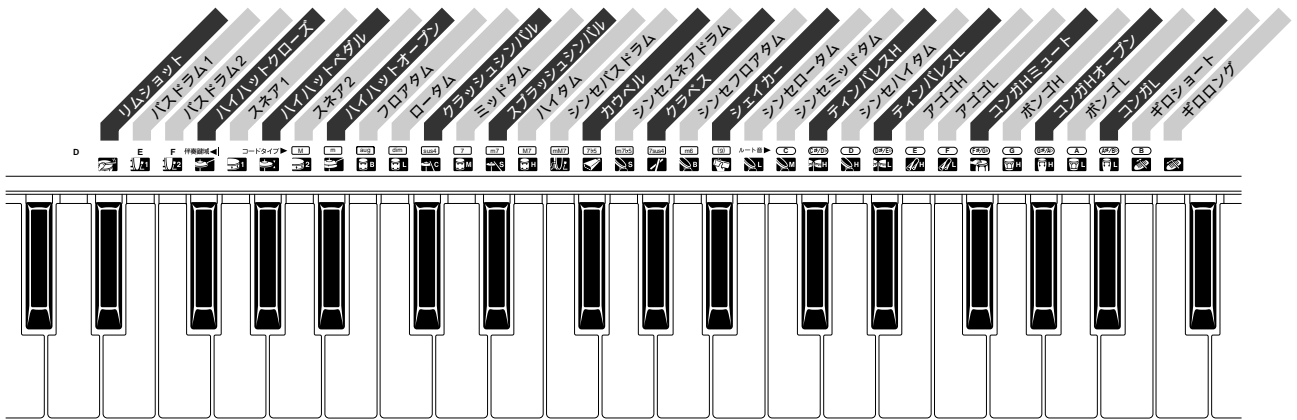


PSR-240の最大同時発音数は16です。デュアル音色などを利用して演奏すると2倍の発音数を使用するため、残りの発音数に注意する必要があります。同時発音数には自動伴奏やソングなどの発音も含まれます。最大同時発音数を越えると、ある音が途中で消えたり鳴らなくなったりすることがあります。

ドラムキットについて

ボイスナンバー「90, 100 ドラムキット」を選ぶと、下記のドラム/パーカッションの音色が各鍵盤にセットされます。

【ドラム/パーカッションリスト】



タッチレスポンス

TOUCH(タッチ)ボタンを押してタッチレスポンスをオンにすると、鍵盤を弾くタッチの強弱で音量を変えることができるので、微妙なニュアンスを表現することができます。

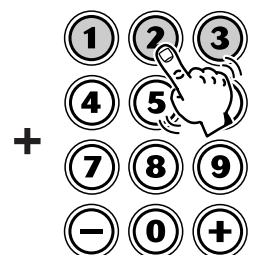
もう一度TOUCH(タッチ)ボタンを押すと、タッチレスポンスはオフになり、鍵盤を弾く強弱に関係なく、一定の音量で演奏できます。



タッチ感度を変える

TOUCH(タッチ)ボタンを押しながらナンバーボタン[1][2]または[3]を押すと、タッチ感度が変わります。

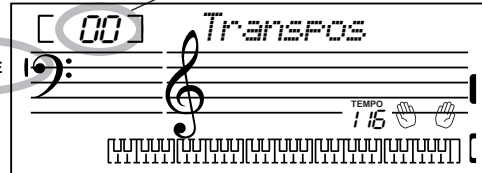
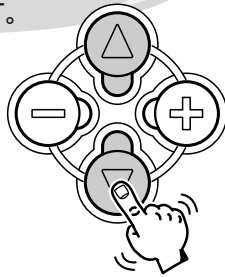
「1」はタッチ感度が鈍くタッチの強弱による音量の差はあまりありません。「2」は感度が中くらい。「3(初期設定)」は感度が鋭く、ダイナミックレンジが広がるので豊かな演奏表現ができます。この場合、大きな音量がほしい時は強く弾く必要があります。



トランスポーズ

楽器全体の音程(トランスポーズ)を変更します。

- 1 ディスプレイに「Transpos」が表示されるまでOVERALL(設定変更) または ボタンを繰り返し押します。



- 2 OVERALL(設定変更) +] [-] ボタンを押して、トランスポーズの値を -12 ~ 12 (単位: 半音、±1 オクターブ) の範囲で変更します。

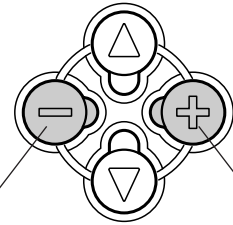


OVERALL(設定変更) +] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定値の「00」に戻ります。

ボイスにドラムキット(ボイスナンバー90, 100)を選んだ場合、トランスポーズはかかりません。

ソングの再生中は、トランスポーズの変更はできません。

トランスポーズ変更後、次に弾いた音から新しく設定したトランスポーズで発音します。



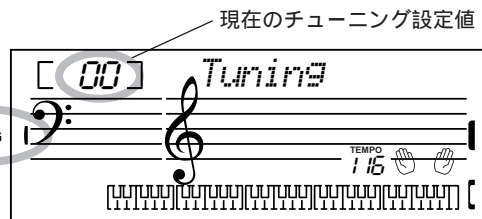
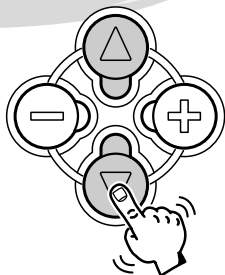
値が1小さくなり、音程が半音下がります。

値が1大きくなり、音程が半音上がります。

チューニング

楽器全体をチューニング(ピッチ[音程]の微調整)します。

- 1 ディスプレイに「Tuning」が表示されるまでOVERALL(設定変更) または ボタンを繰り返し押します。

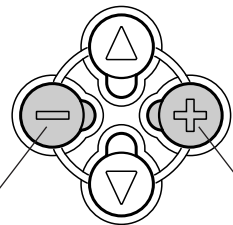


- 2 OVERALL(設定変更) +] [-] ボタンを押して、チューニングの値を -50 ~ 50 (単位: セント) の範囲で変更します。



チューニングの単位: 半音 = 100セント

OVERALL(設定変更) +] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定値の「00」に戻ります。



値が1小さくなり、音程が1セント下がります。

値が1大きくなり、音程が1セント上がります。

自動伴奏に合わせて演奏するには...

自動伴奏って何？

自動伴奏とは、伴奏鍵域で演奏されたコードをもとに、選択されたスタイルに合わせて伴奏(ベース音とコード音)を付ける機能です。PSR-240は、100種類のスタイルで自動伴奏できます。



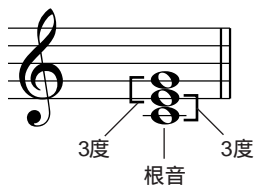
好みのスタイルを選び、自動伴奏機能を使って演奏してみましょう。

スタイルを選びます。	スタイルを選ぶ.....	35ページ
↓		
自動伴奏をスタートします。	自動伴奏のスタート.....	35ページ
↓		
コード(左手)を演奏します。	自動伴奏のコードの押さえ方.....	37ページ
↓		
メロディ(右手)を演奏します。	自動伴奏に合わせてメロディ演奏.....	38ページ
↓		
伴奏パターンを切り替えます。	伴奏パターンの切り替え.....	39ページ
↓		
自動伴奏をストップします。	自動伴奏のストップ.....	40ページ

コード(和音)について

音を2つ以上組み合わせて同時に鳴らしたものを「和音(コード)」と呼びます。

「ド・ミ・ソ」のように、ある音の3度上の音と、さらにもう3度上の音を同時に鳴らすと、良い響きがします。このような形の和音を特に「三和音」と呼び、確実によく響き、音楽の中で非常に重要な役割を果たします。

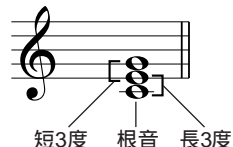


上の例で三和音の一番下の音を「根音」と呼びます。これは和音を支える中心的な存在です。この根音の上に2つの「3度の音」が重なりますが、3度の音には「長3度と短3度」の2種類があります。

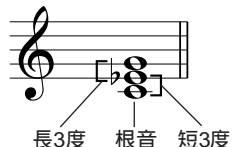


その組み合わせは次の4種類になります。

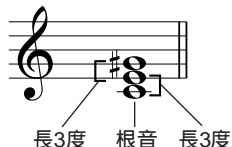
メジャーコード



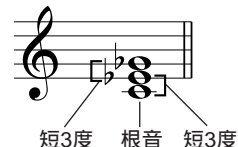
マイナーコード



オーギュメントコード



ディミニッシュコード

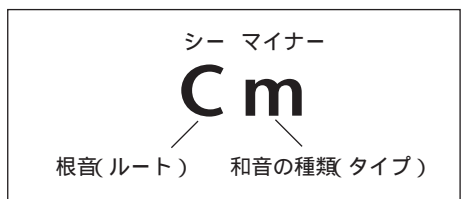


和音は、3つの構成音の順番を入れ替えたり、構成音をオクターブ違いで重ねても、響きの基本的な性格は変わりません。

種類の違う和音をさまざまな姿に変えながら一定の法則に基づいて連結していくと、美しいハーモニーが生まれます。音楽はハーモニーに基づいて成り立っています。

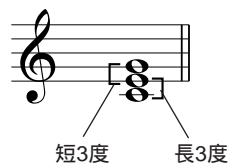
和音の表記について

和音の構成音や、その種類を一目で分かるように工夫したものがコードネームです。コードネームのしくみが分かると、楽譜を見ながら簡単に和音を弾けるので大変便利です。

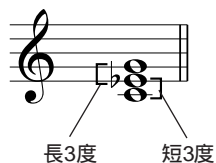


和音の種類(フィンガードで認識されるもの)

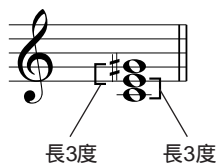
C



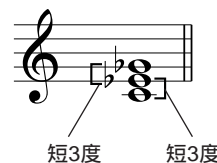
Cm



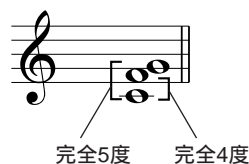
Caug



Cdim



Csus4



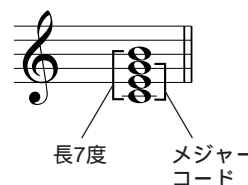
C7



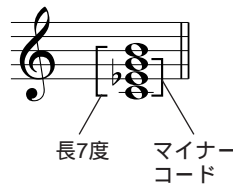
Cm7



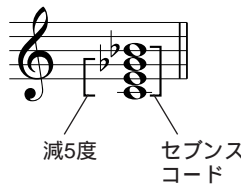
CM7



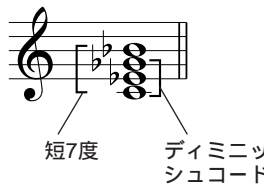
CmM7



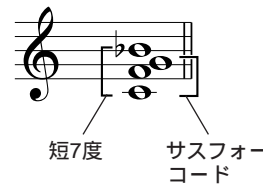
C7b5



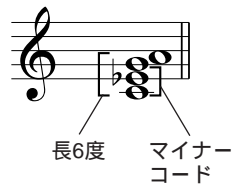
Cm7b5



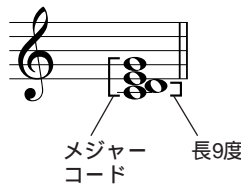
C7sus4



Cm6

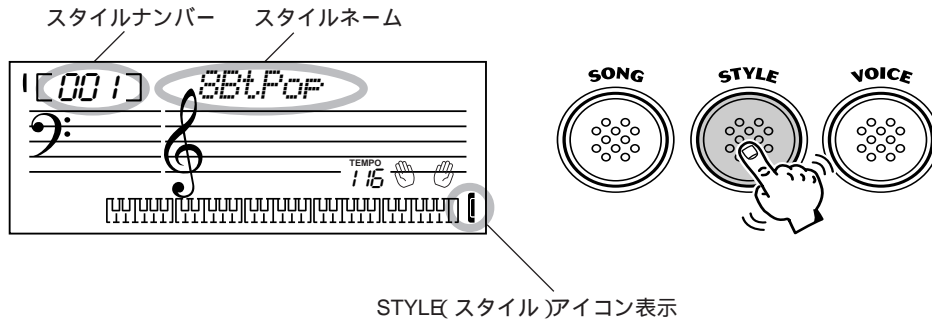


C(9)



スタイルを選ぶ

- 1 STYLE(スタイル)モードを選びます。
STYLE(スタイル)ボタンを押して、STYLE(スタイル)モードを選びます。

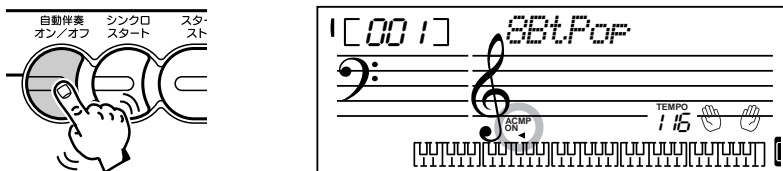


- 2 ナンバーボタンでスタイルナンバーを選びます。
ナンバーの選びかた 19ページ

メモ リズムがストップしている時にスタイルを選ぶと、そのスタイルに最適なテンポが自動的に選ばれます。リズム演奏中にスタイルを変更してもテンポは変わりません。(ワンタッチセッティングがオンの場合を除く)

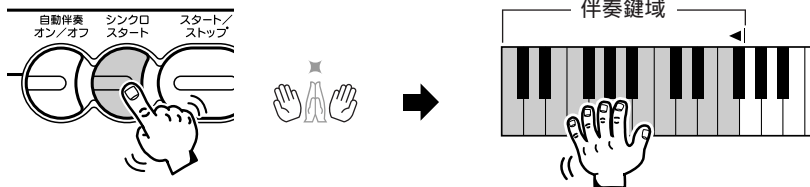
自動伴奏のスタート

自動伴奏オン/オフボタンを押して、自動伴奏をオンにします。
自動伴奏のスタート方法には、次の3種類があります。



シンクロスタート

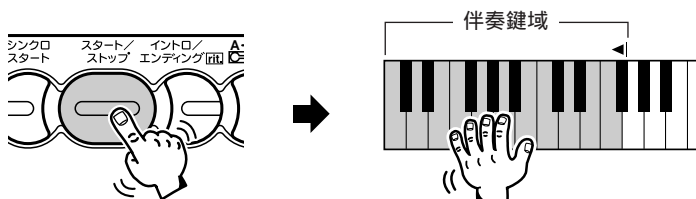
シンクロスタートボタンを押すと、手拍子アイコンが点滅します。
伴奏鍵域でコードを弾くと同時に(シンクロ)自動伴奏がスタートします。



メモ シンクロスタート待機状態で、もう一度シンクロスタートボタンを押すと、シンクロスタート待機状態は解除されます。この状態で、伴奏鍵域の鍵盤でコードを押さえると、リズムなしのベース音とコード音が鳴ります。(ストップアカンパニメント)

スタート

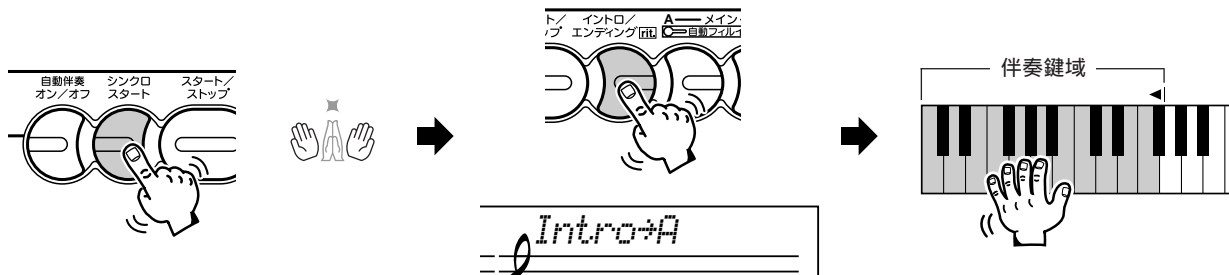
スタート/ストップボタンを押すとリズムがすぐにスタートします。
伴奏鍵域でコードを弾くと、ベースやコードパートなどの演奏が付きます。



メモ スタート/ストップボタンを押すと、選ばれているスタイルのリズムだけがスタートします。また、スタイルにスタイルナンバー81~100(スタイルカテゴリー: ピアニスト)が選ばれている場合は何も鳴りません。

イントロシンクロスタート

シンクロスタートボタンを押すとシンクロスタート待機状態になり、手拍子アイコンが点滅します。
イントロ/エンディングボタンを押すとイントロで始まるシンクロスタート待機状態になります。
伴奏鍵域でコードを弾くと、自動伴奏がイントロからスタートし、メインA、またはBへ移行します。(39ページ参照)



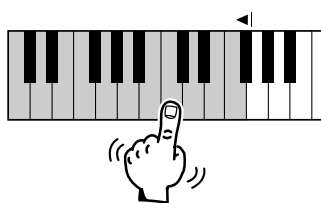
自動伴奏のコードの押さえ方

基本的な押さえ方として、シングルフィンガーとフィンガードの2種類があります。PSR-240は、どちらを使用してもコードを自動的に判断するマルチフィンガリングという機能を搭載しています。

シングルフィンガー コードの簡単な押さえ方
 フィンガード 通常のコードの押さえ方

鍵盤の◀より左の伴奏鍵域でコードを弾いてください。

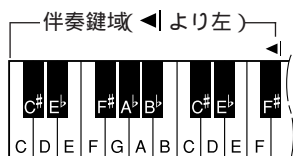
シングルフィンガー



伴奏鍵域で、3本以内の指を使って、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを演奏することができます。



ルートキー(根音)と押さえる鍵盤



シングルフィンガーのコードの押さえ方



・メジャー(M)コード
 ルートキー(根音)を押さえてください。



・マイナー(m)コード
 ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵を同時に押さえてください。

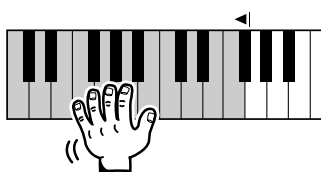


・セブンス(7)コード
 ルートキーと、ルートキーより左側の白鍵を同時に押さえてください。



・マイナーセブンス(m7)コード
 ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

フィンガード



伴奏鍵域でコードを押さえると、自動的にコード名を検出し、スタイルに合った伴奏が演奏されます。



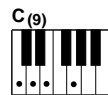
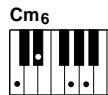
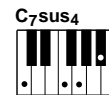
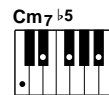
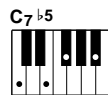
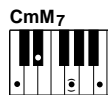
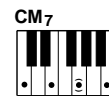
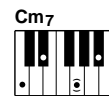
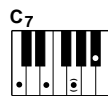
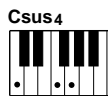
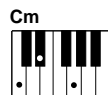
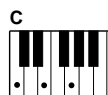
右図でカッコ()内の鍵盤は押さえなくてもかまいません。

コードはすべて基本形で書かれていますが、その転回形も可能です。ただし、以下の場合を例外とします。

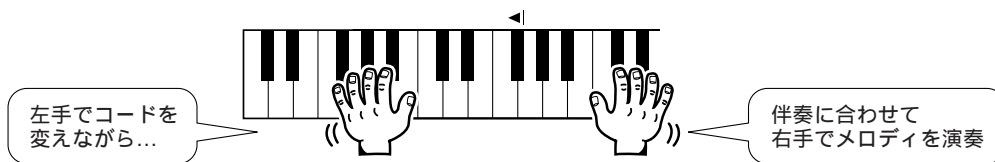
- ・m6とm7^b5はインターバルが同じです。押鍵の最低音がm6の根音になっている場合m6とみなし、それ以外の転回形はm7^b5とみなします。
- ・aug、dim(7)は押鍵の最低音を根音とみなします。
- ・7^b5は押鍵の最低音を、根音または^b7とみなします。
- ・7augはaug、dim7はdimとみなします。

「Bm6」「B^bm6」「Baug」は認識されません。

フィンガードのコードの押さえ方



自動伴奏に合わせてメロディ演奏

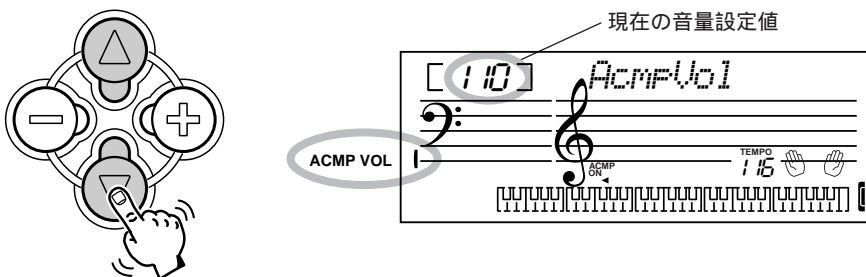


自分の演奏しやすいテンポに調整しましょう。(22ページ「テンポの調整」)

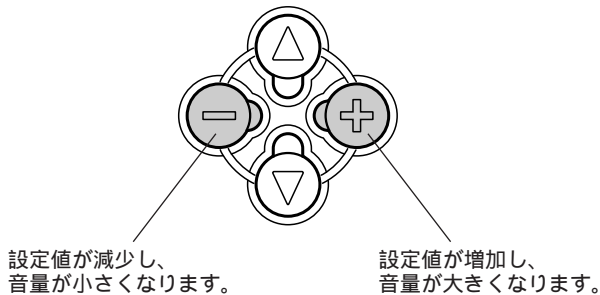
自動伴奏音量の調整

自動伴奏全体の音量を調節して、鍵盤演奏とのバランスをとります。

- 1 ディスプレイに「AcmpVol」が表示されるまでOVERALL(設定変更) または ボタンを繰り返し押しします。



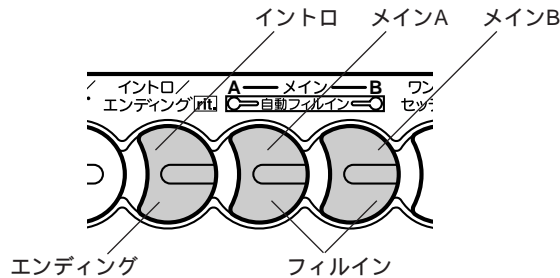
- 2 OVERALL(設定変更) + [-] ボタンを押して、自動伴奏の音量を000~127の範囲で変更します。



OVERALL(設定変更) + [-] ボタンを同時に押すと、初期設定値の「110」に戻ります。

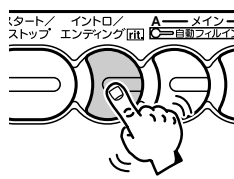
伴奏パターンの切り替え

自動伴奏には、イントロ、メインA/B、フィルイン、エンディングの伴奏パターンがあります。曲に合わせて切り替えることにより、表情豊かな演奏をすることができます。

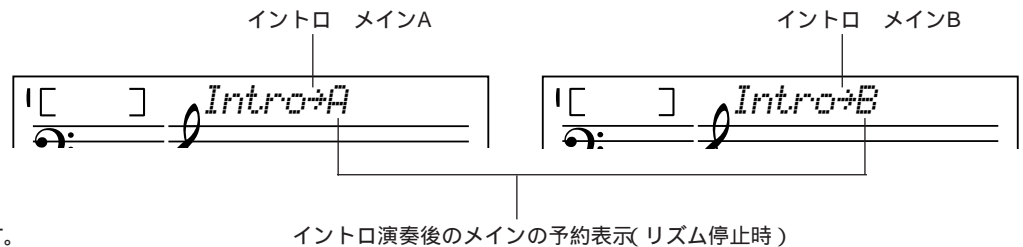


イントロ(イントロ/エンディングボタン)

曲のスタート前にこのボタンを押すと、イントロ(曲の始まり)にふさわしいフレーズでスタートします。イントロの演奏が終了すると、メインに移行します。



リズムスタート前に
イントロボタンを押します。

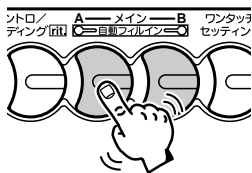


「Intro A(B)」表示中にメインB(A)ボタンを押すと、イントロ演奏後のメインを変更できます。

「Intro A(B)」表示中にもう一度イントロ/エンディングボタンを押すと、イントロがキャンセルされ、ディスプレイにはスタート後に演奏されるメイン「Main A(B)」が表示されます。

メイン(メインA/Bボタン)

メインには、A/B2つのバリエーションがあります。伴奏演奏中にメインA/Bボタンを押して切り替えます(切り替え時に自動的にフィルインが演奏されます)。



スタート前(リズム停止中)にメインA/Bボタンを押す(メインA/Bの予約)、またはスタート後にメインA/Bボタンを押します。

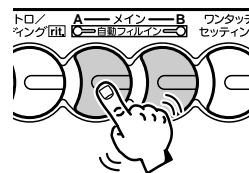
フィルイン(メインA/Bボタン)

フィルインは曲の流れに区切りをつけて演奏を盛り上げます。演奏中にメインA/Bボタンを押すと、演奏状況に応じて最適なフィルインが自動的に演奏され(自動フィルイン)、伴奏にアクセントを付けることができます。



メモ スタイルにスタイルナンバー81~100(スタイルカテゴリー:ピアニスト)が選ばれている場合は、フィルインは演奏されません。

小節内の最終拍以降に、メインA/Bボタンを押すと、次の小節からフィルインが始まります。メインA/Bボタンを押し続けると、フィルインが繰り返し演奏されます。



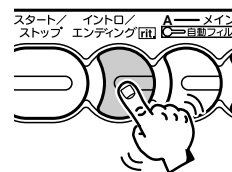
エンディング(イントロ/エンディングボタン)

曲の最後にこのボタンを押すと、エンディング(曲の終り)にふさわしいフレーズを演奏して終わります。



メモ イントロ/エンディングボタンを押すと、次の小節からエンディングが演奏されます。

エンディング演奏中にイントロ/エンディングボタンを押すと、演奏にリタルダンドがかかります(だんだん遅くなってストップします)。

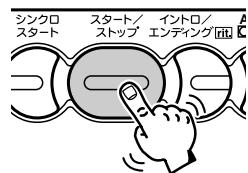


自動伴奏のストップ

自動伴奏のストップ方法には、以下の2種類があります。

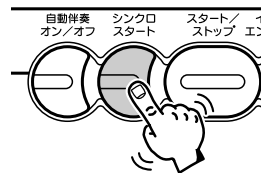
ストップ

スタート/ストップボタン



すぐにストップします。

シンクロスタートボタン



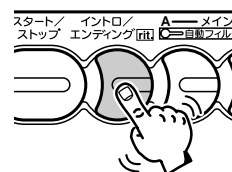
すぐにストップし、シンクロスタート待機状態になります。

エンディング

エンディングの演奏で曲を終わりたい場合は、イントロ/エンディングボタンを押してください。

ボタンを押した次の小節からエンディングを演奏し、伴奏がストップします。

また、エンディング演奏中にもう一度イントロ/エンディングボタンを押すと、リタルダンド(rit.)がかかります。エンディングの演奏前にもう一度イントロ/エンディングボタンを押すと、エンディングの最初からリタルダンド(rit.)がかかります。

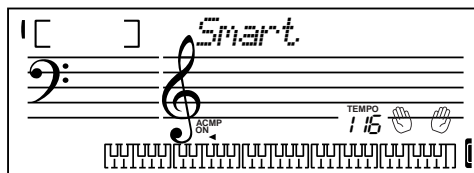
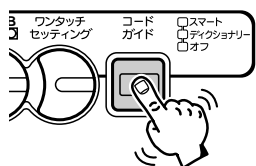


コードガイドを活用しよう

PSR-240のコードガイドは、コードの演奏に役立つ機能です。コードガイドには、弾きたいコードを指1本で演奏できる「スマート」と、コードの構成音を調べることができる「ディクショナリー」の2種類があります。

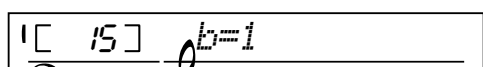
スマートを使って、指一本でコード演奏

- 1 「スタイルを選ぶ(35ページ)を参照して、STYLE(スタイル)モードを選び、次に演奏したい曲に合ったスタイルを選びます。
- 2 コードガイドボタンを押して、「Smart(スマート)」を選びます。



- 3 演奏したい曲の「調」を設定します。

[+] [-] ボタン、またはナンバーボタン[1] ~ [0] で設定します。



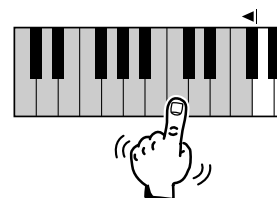
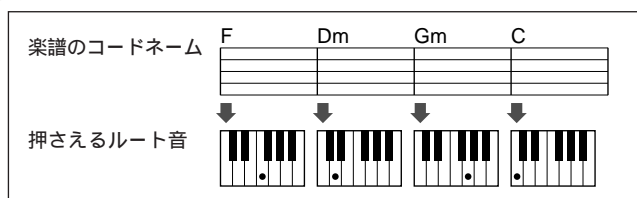
「調」は、楽譜に書かれている「#」や「b」の数で設定します。



ナンバー	#, bの数	調
01	#/b=0	八長調、またはイ短調(C、またはAm)
02	#=1	ト長調、またはホ短調(G、またはEm)
03	#=2	ニ長調、またはロ短調(D、またはBm)
04	#=3	イ長調、または嬰ハ短調(A、またはF#m)
05	#=4	ホ長調、または嬰ニ短調(E、またはC#m)
06	#=5	ロ長調、または嬰ト短調(B、またはG#m)
07	#=6	嬰ハ長調、または嬰ニ短調(F#、またはD#m)
08	#=7	嬰ト長調、または嬰イ短調(C#、またはA#m)
09	b=7	変ハ長調、または変イ短調(Cb、またはAbm)
10	b=6	変ト長調、または変ホ短調(Gb、またはEb m)
11	b=5	変ニ長調、または変ロ短調(Db、またはBbm)
12	b=4	変イ長調、またはハ短調(Ab、またはFm)
13	b=3	変ホ長調、またはハ短調(Eb、またはCm)
14	b=2	変ロ長調、またはト短調(Bb、またはGm)
15	b=1	ハ長調、またはニ短調(F、またはDm)

- 4 自動伴奏をスタートし(35ページ参照) コードを指1本で押さえます。

例)調を「F(b=1)」に設定した場合

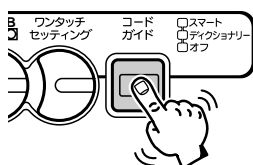


ルート(根音)を押さえるだけでコードタイプが自動的に選ばれるので、左手に気をつかわずに、右手でメロディが弾けます。

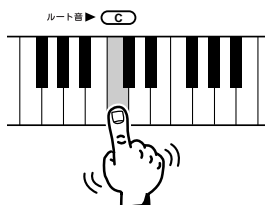
ディクショナリーでコードを調べよう

楽譜に書かれたコードを、和音としてどのように押さえるのか(37ページ「フィンガード」参照)を、辞書をひくようにディスプレイで知ることができます。

- 1 STYLE(スタイル)モードを選び、コードガイドボタンを押して、「Dict(ディクショナリー)」を選びます。

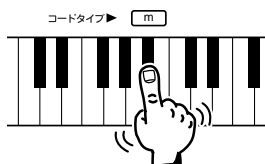


- 2 たとえば「Cm」の押さえ方は、次の手順で操作します。
鍵盤の上書かれた「ルート音」から「C」の鍵盤を押します(音は鳴りません)。設定されたルート音はディスプレイに表示されます。



- 3 鍵盤の上書かれた「コードタイプ」から「m」(マイナー)の鍵盤を押します(音は鳴りません)。設定されたコード(ルート音+コードタイプ)の押さえ方が、ディスプレイに楽譜表示と鍵盤イラストで表示されます。

楽譜(コード構成音)+ 鍵盤で押さえる位置



このように押さえ方を知らないコードを入力すれば、そのコードの構成音や押さえ方がわかります。ディスプレイにしたがって、左手でコードを押さえてみましょう。コードを正しく押さえると、コード名が点滅します。

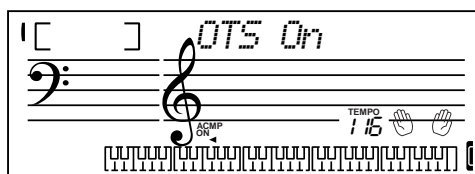
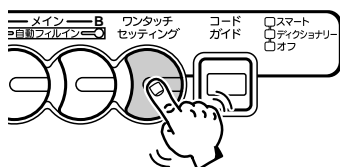


BM7のように1つの音符に「#」と「#」, または「b」と「b」が存在する場合、ディスプレイの制約で楽譜表示ができない場合があります。

スタイルに合ったボイスを選ぶには... (ワンタッチセッティング)

STYLE(スタイル)モードで、ワンタッチセッティングボタンを押すと、自動的に現在選ばれているスタイルに最適なボイスなどの設定が呼び出され、たいへん便利です。また、マルチパッドも最適なバンクが呼び出されます。

STYLE(スタイル)モードでワンタッチセッティングボタンを押すと、ワンタッチセッティングがオンになります。



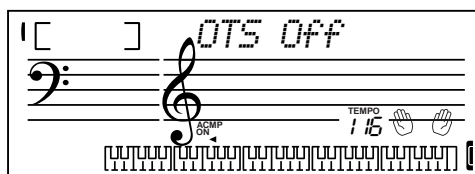
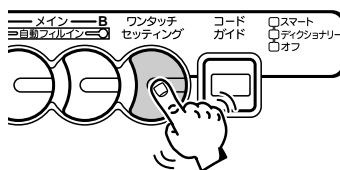
ワンタッチセッティングの設定内容

- ・ボイス
- ・マルチパッドバンク
- ・テンポ
- ・伴奏音量
- ・自動伴奏「オン」
- ・シンクロスタート待機状態(スタイル停止時)



ワンタッチセッティングがオンの状態でスタイルを変更すると、変更したスタイルに最適な設定が呼び出されます。

もう一度ワンタッチセッティングボタンを押すと、ワンタッチセッティングがオフになります。

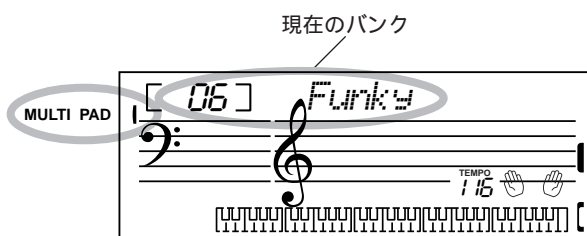
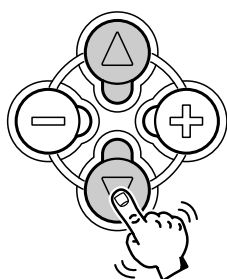


マルチパッドを鳴らすには...

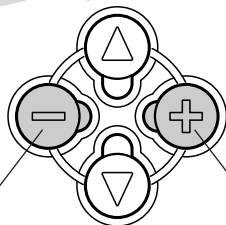
PSR-240のマルチパッドには、40種類(2パッド×20バンク)のフレーズやドラムサウンドなどが入っています。演奏中にパッドを押すだけで、それらのフレーズやサウンドを鳴らすことができます。

マルチパッドバンクの選びかた/鳴らしかた

- 1 ディスプレイにマルチパッドバンク名(「06 Funky」など)が表示されるまでOVERALL(設定変更) または ボタンを繰り返し押します。



- 2 OVERALL(設定変更) + [-] ボタンを押して、バンクを選びます。(49ページ「マルチパッドバンクリスト」参照)



バンクのナンバーが1小さくなります。

バンクのナンバーが1大きくなります。

- 3 マルチパッド1/2を押すと、そのパッドの演奏が始まります。



マルチパッドの中には伴奏鍵域で検出されたコードに合わせて鳴るものもあります。ワンタッチセッティングをオンにすると、スタイルに合ったバンクが自動的に選ばれます。

MIDIを使うとこんなことができる

PSR-240のリアパネルにはMIDI端子(MIDI IN/MIDI OUT)があります。MIDI機能を活用することにより、PSR-240の機能を拡張することができます。

MIDIについて

MIDI(ミディ)とは、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(または、コンピューターなどと)で演奏情報のやりとりを行うために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器(機器)をケーブルで接続すれば、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

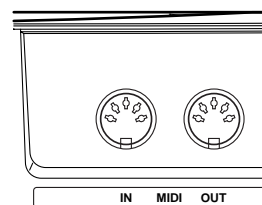
MIDI IN端子 他のMIDI機器からMIDI信号を受信します。

MIDI OUT端子 PSR-240の演奏情報をMIDI信号として他のMIDI機器へ送信します。



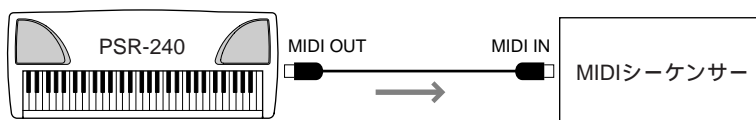
MIDI機器の接続には専用のMIDIケーブル(別売)が必要です。楽器店などで買い求めください。

長いケーブルを使用すると、エラーが生じる場合があります。ケーブルは15m以内のものをご使用ください。



MIDIを使ってできること

PSR-240のMIDI OUT端子と、他のMIDIシーケンサーのMIDI IN端子を接続

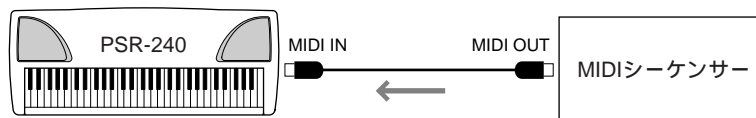


PSR-240の演奏(キーオン/キーオフ)をMIDIシーケンサーに録音できます。



演奏を録音する前に、現在の楽器の設定状態をシーケンサーに録音しておく、再生の時、録音した時と同じ状態で再生されます。
録音の時、自動伴奏オン/オフボタンを1~2回押して楽器の設定状態を送信(録音)してから、演奏を開始します。

PSR-240のMIDI IN端子と、他のMIDIシーケンサーのMIDI OUT端子を接続



MIDIシーケンサーに録音した演奏を、PSR-240で再生します。



PSR-240は独自の音色配列を採用しています。PSR-240の演奏をMIDIシーケンサーに録音した場合、再生時にもPSR-240を利用することをおすすめします。他の音源などでは正しく再生されない場合があります。

SONG(ソング)モードでは、MIDIデータを送受信できません。

外部音源では、オクターブ移動して再生する場合があります。

デュアル音色は外部ではたらかない場合があります。

ボイスリスト

最大同時発音数について

PSR-240の最大同時発音数は16音ですが、デュアル音色やスプリット音色、自動伴奏、ソングなどを含めたすべての発音数の合計が16音ということです。したがって自動伴奏やソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。16音以上になると、新しく押さえた音を優先して発音します。

なお、PSR-240のボイスの中には、2音以上使って発音しているものがあります。これらは1音の発音が2音以上の発音に相当します。各ボイスごとの使用発音数は、次のリストを参照してください。(リスト内の発音数は、そのボイスの使用する最大の使用発音数を示していますが、音程によってはこれ以下の使用発音数になるものもあります。)



MIDIを使ってPSR-240のボイスを鳴らす場合は、下記のプログラムチェンジナンバーを使用してください。また、必要に応じてバンクMSB/LSBを設定してください。ドラムキット以外を選ぶ場合は「バンクMSB = 00H、LSB = 70H」に、ドラムキット(ボイスナンバー90, 100)を選ぶ場合は「バンクMSB = 7FH、LSB = 00H」に設定します。

MIDIを使ってPSR-240のボイス鳴らす場合、ハーモニー音色やエコー音色は効果が付きません。

ボイス No.	プログラムチェンジNo.	ボイスネーム	使用発音数
1	0	グランドピアノ(GRAND PIANO)	2
2	1	ピアノ(PIANO)	1
3	2	ホンキートンクピアノ(HONKY-TONK)	2
4	3	エレクトリックピアノ 1(E PIANO 1)	2
5	4	エレクトリックピアノ 2(E PIANO 2)	2
6	5	エレクトリックピアノ 3(E PIANO 3)	1
7	6	エレクトリックピアノ 4(E PIANO 4)	1
8	7	ハーブシコード(HARPSICHORD)	2
9	8	クラビ(CLAVI)	1
10	9	チェレスタ(CELESTA)	1
11	10	エレクトリックオルガン 1(E ORGAN 1)	2
12	11	エレクトリックオルガン 2(E ORGAN 2)	2
13	12	エレクトリックオルガン 3(E ORGAN 3)	1
14	13	エレクトリックオルガン 4(E ORGAN 4)	1
15	14	チャーチオルガン 1(CHURCH ORG 1)	2
16	15	チャーチオルガン 2(CHURCH ORG 2)	2
17	16	フルオルガン(FULL ORGAN)	2
18	17	ウェーブオルガン(WAVE ORGAN)	2
19	18	アコーディオン(ACCORDION)	2
20	19	ハーモニカ(HARMONICA)	1
21	20	ソフトギター(SOFT GUITAR)	1
22	21	フォークギター(FOLK GUITAR)	1
23	22	12弦ギター(12ST GUITAR)	2
24	23	ジャズギター(JAZZ GUITAR)	1
25	24	エレクトリックギター(E GUITAR)	2
26	25	ディストーションギター(DIST GUITAR)	2
27	26	ウッドベース(WOOD BASS)	1
28	27	フィンガーベース(FINGER BASS)	1
29	28	ミュートベース(MUTE BASS)	1
30	29	スラップベース(SLAP BASS)	1
31	30	ストリングス(STRINGS)	1
32	31	バイオリン(VIOLIN)	1
33	32	チェロ(CELLO)	1
34	33	ハーブ(HARP)	1
35	34	シタール(SITAR)	1
36	35	バンジョー(BANJO)	1
37	36	ウクレレ(UKULELE)	1
38	37	ビブラフォン(VIBRAPHONE)	1
39	38	マリンバ(MARIMBA)	1
40	39	スティールドラム(STEEL DRUMS)	1

ボイス No.	プログラム チェンジNo.	ボイスネーム	使用発音数
41	40	トランペット(TRUMPET)	1
42	41	トロンボーン(TROMBONE)	1
43	42	ミュートトランペット(MUTE TRPET)	1
44	43	フレンチホルン(FRENCH HORN)	1
45	44	ブラセクション(BRASS SECT)	1
46	45	アルトサククス(ALTO SAX)	1
47	46	テナーサククス(TENOR SAX)	1
48	47	クラリネット(CLARINET)	1
49	48	フルート(FLUTE)	1
50	49	パンフルート(PAN FLUTE)	1
51	50	シックリード(THICK LEAD)	2
52	51	シンプルリード(SIMPLE LEAD)	1
53	52	シックソウトゥース(THICK SAW)	2
54	53	シンプルソウトゥース(SIMPLE SAW)	1
55	54	シンセベース(SYNTH BASS)	1
56	55	シンセストリングス(SY STRINGS)	1
57	56	シンセプラス 1(SY BRASS 1)	2
58	57	シンセプラス 2(SY BRASS 2)	1
59	58	ライジング(RISING)	1
60	59	スローストリングス(SLOW STRS)	1
61	60	ピアノトリオ(PIANO TRIO)	3
62	61	ピアノカントリー(PNO COUNTRY)	2
63	62	エレピトリオ(E PNO TRIO)	3
64	63	ハーブシコードトリオ(HARPSI TRIO)	3
65	64	オルガントリオ(E ORG TRIO)	3
66	65	ビブラフォンデュエット(VIBES DUET)	2
67	66	トランペットデュエット(TRP DUET)	2
68	67	ホルンデュエット(HORN DUET)	2
69	68	クラリネットトリオ(CLARINET TR)	3
70	69	フルートデュエット(FLUTE DUET)	2
71	70	ウッドベース / ピアノ(WD BASS/PNO)	1
72	71	ストリングス / ピアノ(STRINGS/PNO)	1
73	72	ベース / エレピ(FN BA/E PNO)	1
74	73	スラップベース / クラビ(SL BA/CLAVI)	1
75	74	ベース / オルガン(FN BA/E ORG)	1
76	75	ベース / フォークギター(FN BA/FK GT)	1
77	76	ハーブ / バイオリン(HARP/VIOLIN)	1
78	77	ホルン / トランペット(HORN/TRP)	1
79	78	シンセベース / ブラセ(SY B/BRS SEC)	1
80	79	ピアノ / フルード(PIANO/FLUTE)	1
81	80	ピアノ(PIANO)	1
82	81	エレクトリックピアノ(E PIANO)	1
83	82	ハーブシコード(HARPSICHORD)	1
84	83	チェレスタ(CELESTA)	1
85	84	フォークギター(FOLK GUITAR)	1
86	85	バンジョー(BANJO)	1
87	86	ビブラフォン(VIBRAPHONE)	1
88	87	マリンバ(MARIMBA)	1
89	88	スティールドラム(STEEL DRUMS)	1
90	*1	ドラムキット(DRUM KIT)	1
91	90	ピアノコンチェルト(PNO CONCE)	2
92	91	エレピコンチェルト(E PNO CONCE)	2
93	92	フェアリーランド(FAIRY LAND)	2
94	93	ムードギター(MOOD GUITAR)	2
95	94	リッチギター(RICH GUITAR)	2
96	95	ホットオルガン(HOT ORGAN)	2
97	96	バイオリン(EXCEL VIOLIN)	2
98	97	クリスタル(CRYSTAL)	2
99	98	スターシップ(STAR SHIP)	2
100	*2	ドラムキット(DRUM KIT)	1

*1...MSB = 7FH, LSB = 00H, プログラムチェンジNo. = 2

*2...MSB = 7FH, LSB = 00H, プログラムチェンジNo. = 1

ボイスリスト

ソングに使われているボイスの中には、パネルからは選択できないものがあります。次のリストを参考に、MIDIを使ってプログラムチェンジナンバーをPSR-240に送信すれば、それらのボイスを鳴らすことができます。この時、バンクMSB/LSBは「バンクMSB = 00H、LSB = 00H」に設定します。ソングでこれらのボイスが選ばれた時、ディスプレイに「SG」が表示されます。

プログラム チェンジNo.	ボイスネーム	使用発音数
0	ピアノ(Piano)	1
3	ホンキートンクピアノ(Honky-tonk Piano)	2
4	エレクトリックピアノ1(Electric Piano 1)	1
5	エレクトリックピアノ2(Electric Piano 2)	1
6	ハーブシコード(Harpsichord)	1
7	クラビ(Clavi)	1
8	チェレスタ(Celesta)	1
11	ビブラフォン(Vibraphone)	1
12	マリimba(Marimba)	1
16	エレクトリックオルガン1(Electric Organ 1)	1
17	エレクトリックオルガン2(Electric Organ 2)	1
19	チャーチオルガン(Church Organ)	1
20	フルオルガン(Full Organ)	2
21	アコーディオン(Accordion)	1
22	ハーモニカ(Harmonica)	1
23	ウェーブオルガン(Wave Organ)	2
24	ソフトギター(Soft Guitar)	1
25	フォークギター(Folk Guitar)	1
26	ジャズギター(Jazz Guitar)	1
27	エレクトリックギター(Electric Guitar)	1
28	12げんギター(12-String Guitar)	2
29	リッチギター(Rich Guitar)	2
30	ディストーションギター(Distortion Guitar)	1
31	ウクレレ(Ukulele)	1
32	ウッドベース(Wood Bass)	1
33	フィンガーベース(Finger Bass)	1
34	ミュートベース(Mute Bass)	1
36	スラップベース(Slap Bass)	1
38	シンセベース(Synth Bass)	1
40	バイオリン(Violin)	1
42	チェロ(Cello)	1
46	ハーブ(Harp)	1
49	ストリングス(Strings)	1
51	シンセストリングス(Synth Strings)	1
56	トランペット(Trumpet)	1
57	トロンボーン(Trombone)	1
59	ミュートトランペット(Muted Trumpet)	1
60	フレンチホルン(French Horn)	1
61	ブラスセクション(Brass Section)	1

プログラム チェンジNo.	ボイスネーム	使用発音数
63	シンセブラス(Synth Brass)	1
65	アルトサククス(Alto Sax)	1
66	テナーサククス(Tenor Sax)	1
71	クラリネット(Clarinet)	1
73	フルート(Flute)	1
75	パンフルート(Pan Flute)	1
80	リード(Lead)	1
81	ソウトゥース(Sawtooth)	1
82	ライジング(Rising)	1
88	ピアノコンチェルト(Piano Concerto)	2
89	エレピコンチェルト(Electric Piano Concerto)	2
90	フェアリーランド(Fairy land)	2
91	ホットオルガン(Hot Organ)	2
92	ムードギター(Mood Guitar)	2
93	バイオリン(Excel Violin)	2
94	スターシップ(Star ship)	2
95	スロースtrings(Slow Strings)	1
98	クリスタル(Crystal)	2
104	シタール(Sitar)	1
105	バンジョー(Banjo)	1
106	サステインピアノ(Sustain Piano)	1
107	サステインエレピ1(Sustain E.Piano 1)	1
108	サステインエレピ2(Sustain E.Piano 2)	1
109	サステインエレキギター(Sustain E.Guitar)	1
110	サステインビブラフォン(Sustain Vibraphone)	1
111	サステインストリングス(Sustain Strings)	1
114	スチールドラム(Steel Drums)	1
117	サウンドエフェクト(Sound Effect)	1
118	ウッドベース/ピアノ(Wood Bass / Piano)	1
119	ストリングス/ピアノ(Strings / Piano)	1
120	ベース/エレピ(Finger Bass / Electric Piano)	1
121	スラップベース/クラビ(Slap Bass / Clavi)	1
122	ベース/オルガン(Finger Bass / Electric Organ)	1
123	ベース/フォークギター(Finger Bass / Folk Guitar)	1
124	ハーブ/バイオリン(Harp / Violin)	1
125	ホルン/トランペット(Horn / Trumpet)	1
126	シンセベース/ブラス(Synth Bass / Brass Section)	1
127	ピアノ/フルート(Piano / Flute)	1

マルチパッドバンクリスト

バンクNo.	バンク名	ディスプレイ
1	ピアニスト1	Pianist1
2	ピアニスト2	Pianist2
3	ギタープレイ	Gtr.Play
4	ブラス	Brass
5	ブラスヒット	BrassHit
6	ファンキー	Funky
7	テクノ1	Techno1
8	テクノ2	Techno2
9	アルペジオ	Arpeggio
10	トゥインクル1	Twinkle1
11	トゥインクル2	Twinkle2
12	クリスタル	Crystal
13	バード	Bird
14	アフリカ	Africa
15	ドラムキット	DrumKit
16	タム・フラム	Tom_Flam
17	ドラム・シーケンス	Drum_Seq
18	ラテンパーカッション	LatPerc
19	ボンゴ・シーケンス	BongoSeq
20	ティンパレス	Timbales

- 1 送信するベロシティの値(音量の値)は、鍵盤を弾く強さが同じでも、選択されているボイスによって異なります。
- 2 バンクセレクト
 - ・ MSBはメロディ音色/リズム音色の切り替えに用いられます。
MSB = 00H : メロディ音色
MSB = 7FH : リズム音色
 - ・ LSBは音色リストを参考にしてください。
- 3 プログラムチェンジ
 - ・ プログラムチェンジを受信しても、本体パネルで選ばれている音色 (LCD表示も)は変わりません。
 - ・ プログラムチェンジの値は音色リストを参考にしてください。
- 4 エクスクルーシブ
<GMシステムオン>
FOH, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H
 - ・ すべてのデータの設定値を初期設定値に戻します。
- 5 ソングモードでは、一切のMIDIメッセージの送受信が行われません。

故障かな？と思ったら

現象	原因	解決方法
電源入/切スイッチを押した時に、ポツンという音がある。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
音が歪んだり、突然出なくなったりする。 電源を入れた時の状態に戻る。	電池が消耗しています。	電池を交換してください。
PSR-240から雑音が出る。	PSR-240の近くで携帯電話を使っている(または呼び出し音が鳴っている)。	PSR-240の近くでは携帯電話の電源を切ってください。PSR-240の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
音が出ない。	PHONES/OUTPUT \square ヘッドフォン/外部出力端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されています。	ヘッドフォン(プラグ)を抜いてください。
STYLE(スタイル)モードでスタート/ストップボタンを押してもリズム音が鳴らない。	スタイルにスタイルナンバー81~100(スタイルカテゴリー:ピアニスト)が選ばれています。	故障ではありません。スタイルナンバー81~100が選ばれている場合は、ピアノだけの伴奏が鳴ります。
同時に押さえた鍵盤の音が全部鳴らない。	発音数には制限があります。	PSR-240の最大同時発音数は16です。自動伴奏やソングの演奏なども含めて最大16音の範囲で鳴らすことができます。(46ページ参照)
押さえる鍵盤によって音質や音量が異なる。	音色によっては、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵域をいくつかに分けて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方法で作られたものがあります。それらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。	故障ではありません。
ソングが途中で止まる。	ウェイティング機能が働いています。	ウェイティングをオフにしてください。(26ページ参照)
ソングのメロディが聞こえない。	マイナスイオン機能が働いています。	マイナスイオンをオフにしてください。(26ページ参照)
伴奏鍵域で押さえた鍵盤と、ディスプレイに表示される鍵盤が合わない。	ディスプレイには認識されたコードの情報が表示されます。	故障ではありません。認識されたコードは、常にフィンガードの押さえ方で表示されます。(37ページ参照)

オプション(別売)商品のご紹介

ヘッドフォン	HPE-150	¥4,000	⋮	MIDIケーブル	MIDI-03(3m)	¥1,100
	HPE-3	¥3,000				
キーボードスタンド	L-2L	¥4,000	⋮	ソフトケース	SCC-32	¥6,000
	L-2C	¥6,000			SCC-36	¥8,000
フットスイッチ	FC4	¥3,000	⋮			
	FC5	¥1,500				

商品の金額には、消費税は含まれておりません。

PSR-240仕様

キーボード	レギュラーサイズ61鍵 C1～C6：タッチレスボンス付	
ボイス	AWM100音色(最大同時発音数16)	
スタイル	100スタイル	
ソング	100曲	
自動伴奏		
フィンガリング	マルチフィンガリング	
コードガイド	スマート、ディクショナリー	
メロディガイド	ウェイティング、マイナスイオン	
マルチパッド	40(2パッド×20バンク)	
コントロール	電源入/切スイッチ、全体音量コントロール、OVERALL(設定変更)、[+] [-] ボタン、SONG(ソング)/VOICE(ボイス)/STYLE(スタイル)ボタン、自動伴奏オン/オフボタン、シンクロススタート(II)ボタン、スタート/ストップ(▶/◀)ボタン、イントロ/エンディング(a↔b)ボタン、メインA/B(自動フィルイン[◀◀, ▶▶])ボタン、ワンタッチセッティング(メロディボイスチェンジ)ボタン、コードガイド(メロディガイド)ボタン、ピアノモードボタン、メトロノームボタン、ナンバーボタン[1]～[0][+][-]ボタン、DEMO(デモ)ボタン、TOUCH(タッチ)ボタン、マルチパッド1/2	
リアパネル端子	DC IN 10-12V[電源アダプター]端子、PHONES/OUTPUT[ヘッドフォン/外部出力]端子、SUSTAIN[サステイン]端子、MIDI IN/MIDI OUT端子	
アンプ実用 最大出力	電源アダプターPA-3B使用時	2.0W + 2.0W
	乾電池使用時	1.7W + 1.7W
PHONES/OUTPUT出力インピーダンス	77 ± 5%	
スピーカー	12cm × 2(ステレオ)	
電源	アダプター：PA-3B 定格電圧 10-12V 定格電流 700mA 電池：単1乾電池(1.5V) × 6	
電池持続時間(マンガン電池使用時)	約28時間(デモ演奏連続使用：全体音量コントロールの位置 = 最大の70%)	
消費電力(電源アダプターPA-3B)	14.4W	
寸法(幅×奥×高mm)	933 × 370 × 129	
重量(kg)	5.7	
付属品	電源アダプターPA-3B、譜面立て、取扱説明書、ソングブック、保証書、和文シート	
オプション(別売)商品	ヘッドフォンHPE-150, HPE-3、キーボードスタンドL-2L, L-2C、フットスイッチFC4, FC5、MIDIケーブルMIDI-03、ソフトケースSCC-32, SCC-36	

仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡しますので、必ず販売店印・お買い上げ日などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、バックライト、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL. 011-512-6108
仙台サービスセンター	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL. 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184	TEL. 044-434-3100
浜松サービスセンター	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL. 06-6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL. 087-822-3045
広島サービスセンター	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL. 053-465-1158

ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

ポータブル楽器インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-1696
受付日 月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く) 受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

電子楽器事業部 営業部	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1 国内営業第二グループ	TEL. 053-460-3275
EM東京事業所 企画課	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-5476
北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内	TEL. 011-512-6113
仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル	TEL. 022-222-6147
関東営業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-1688
EM大阪事業所 第二営業課	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館	TEL. 06-6252-7491
名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL. 052-201-5199
広島営業所	〒730-8628	広島市中区紙屋町1-1-18	TEL. 082-244-3749
九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2130

住所および電話番号は変更になる場合があります。

インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>

ヤマハ株式会社

M.D.G., EMI Division © 1999 Yamaha Corporation

V346000 ???PO???.?-01A0 Printed in China

